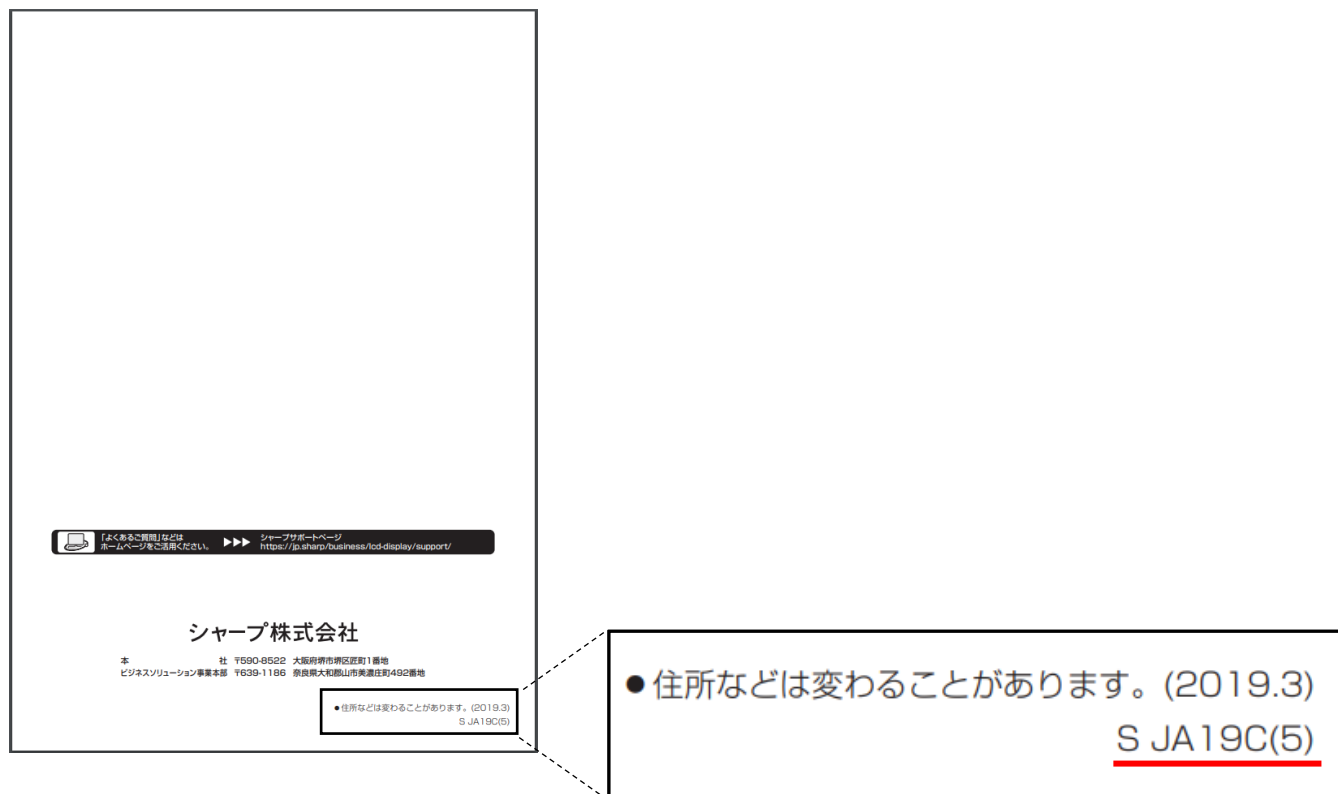


現在公開されている取扱説明書（版番号：S JA19C5 ※）は、Ver.1.1.2.24まで対応しています。

本書は、Ver.1.1.2.24までの内容に対する訂正/補足内容、及び、Ver.1.1.2.24よりも新しいバージョン（Ver.1.1.2.27以降）で追加された新しい機能のご利用方法について説明しています。取扱説明書と併せてお読みいただきますようお願い致します。

※ 取扱説明書の版番号については、取扱説明書の背表紙の右下（下記の図に示した位置）に記載しています。



本書の構成について

本書は、第1章、第2章、第3章、第4章、トラブルシューティング、付録の5部構成となっています。

第1章では、取扱説明書の記載内容に対する訂正/補足内容について説明します。

第2章では、e-Signage S Ver.1.1.2.27～Ver.1.1.2.38 で追加された機能の利用方法について説明します。

第3章では、e-Signage S Ver.1.1.2.43 で追加された機能の利用方法について説明します。

第4章では、e-Signage S Ver.1.1.2.45 で追加された機能の利用方法について説明します。

第5章では、e-Signage S Ver.1.1.2.49 で追加された機能の利用方法について説明します。

トラブルシューティングでは、操作画面で問題が発生した場合の解決方法を説明します。

第2章の補足として、「パネルのインポート・エクスポート機能の利用方法について」を付録にて説明します。

第 1 章 取扱説明書の訂正/補足内容について

第 1 章では、取扱説明書の記載内容に対する訂正/補足内容について説明します。該当箇所を赤字で記載しています。

取扱説明書 P.15、16、18、20、21、22、56、57、79、149、163

■使用できるファイル形式の変更

コンテンツの再生に必要なソフトウェアのサポートが終了したため、取扱説明書に記載している以下のファイル形式はサポート対象外になります。

- ・ Flash (アドビ社の Adobe Flash Player サポート終了により)
- ・ PowerPoint (マイクロソフト社の Microsoft PowerPoint Viewer サポート終了により)

取扱説明書 P.15 留意点追加

■コンテンツや番組を作成するときの留意点

現 状	・テロップコンテンツについて テロップの表示には、高い CPU 処理能力を必要とします。テロップ使用の際には、運用前に番組を実際に表示してテストすることをお勧めします。 ・背景色を透過させると、負荷が大きくなります。 ・テロップの表示領域が大きくなるほど負荷が大きくなります。必要以上に大きくしないでください。 ・テロップ 1 行の文字数が多くなると、表示が乱れる場合があります。その場合は途中で改行してください。 (1 列全角 100 文字程度を推奨)
追 加	・テロップコンテンツについて テロップの表示には、高い CPU 処理能力を必要とします。テロップ使用の際には、運用前に番組を実際に表示してテストすることをお勧めします。 ・背景色を透過させると、負荷が大きくなります。 ・テロップの表示領域が大きくなるほど負荷が大きくなります。必要以上に大きくしないでください。 ・テロップ 1 行の文字数が多くなると、表示が乱れる場合があります。その場合は途中で改行してください。 (1 列全角 100 文字程度を推奨) ・プレーヤー A1 に配信する場合、管理用 PC でのプレビュー結果と、実際のテロップ画面が異なることがあります。システム運用前には、番組を実際に表示して問題のないことを確認してください。

取扱説明書 P.18 表の項目追加

■e-Signage S プレーヤー A1 の制限事項

追 加	機能		e-Signage S プレーヤー A1 での制限事項
	コンテンツ	テロップ	テロップで配信可能な 1 行あたりの文字数は 72pt 96 文字です。 72pt 未満のフォントを使用すると文字の輪郭にジャギーが発生することがあります。
	スケジュール	スケジュールの総サイズ	16GB 迄

■e-Signage S プレーヤー A1 の制限事項

現 状	機能		e-Signage S プレーヤーA1 での制限事項
	配信	表示用端末の電源 ON/OFF	使用できません。
	状態監視	表示用端末の電源 ON/OFF	使用できません。



追 加	機能		e-Signage S プレーヤーA1 での制限事項
	配信	表示用端末の電源 ON/OFF	使用できません。ただし、表示用端末の再起動は使用可能です。
	状態監視	表示用端末の電源 ON/OFF	使用できません。ただし、表示用端末の再起動は使用可能です。

取扱説明書 P.20 動作環境変更 (OS、ソフトウェアの削除 / 追加 / 更新)

現 状	形名		e-Signage S WEBサーバー版	e-Signage S Pro版	e-Signage S ネットワーク版	e-Signage S スタンドアロン版
			PN-SW25	PN-SS25	PN-SS22	PN-SS21
	導入端末		管理用PC	操作用PC	管理用PC	管理用PC
	パソコン	CPU	1.6GHz 以上			
		OS※2	○	○	○	○
		Microsoft Windows 7/8.1/10	○	○	○	○
		Microsoft Windows Server 2008/2008 R2/ 2012/2012 R2/ 2016	○	○	○	○
		メモリー	2GB以上			
		ハードディスク	空き容量500MB以上 (別途データ保存のための空き容量が必要)			
	ディスプレイ (管理用)※3	解像度	1,280×1,024ドット以上			
		色数	フルカラー			
	対応ブラウザ (操作画面)		Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge/Google Chrome			
	その他のソフトウェア		Microsoft Internet Explorer/Microsoft Powerpoint Viewer/ Microsoft Windows Media Player※4/Adobe Flash Player			



変 更	形名		e-Signage S WEBサーバー版	e-Signage S Pro版	e-Signage S ネットワーク版	e-Signage S スタンドアロン版
			PN-SW25	PN-SS25	PN-SS22	PN-SS21
	導入端末		管理用PC	操作用PC	管理用PC	管理用PC
	パソコン	CPU	1.6GHz 以上			
		OS※2	○	○	○	○
		Microsoft Windows 8.1/10	○	○	○	○
		Microsoft Windows Server 2012/2012 R2/ 2016/2019	○	○	○	○
		メモリー	2GB以上			
		ハードディスク	空き容量500MB以上 (別途データ保存のための空き容量が必要)			
	ディスプレイ (管理用)※3	解像度	1,280×1,024ドット以上			
		色数	フルカラー			
	対応ブラウザ (操作画面)		Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge/Google Chrome			
	その他のソフトウェア		Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Windows Media Player 12※4			

取扱説明書 P.21 動作環境変更（OS、ソフトウェアの削除 / 追加 / 更新）

現 状	形名		e-Signage S プレーヤー PN-SV21	
	導入端末		表示用端末	
	パソコン	CPU	1.6GHz以上	
		OS※2	Microsoft Windows 7/8.1/10※3	○
			Microsoft Windows Server 2008/ 2008 R2/2012/2012 R2/2016	－
		メモリー	2GB以上	
		ハードディスク	空き容量500MB以上（別途データ保存のための空き容量が必要）	
	パネル（表示用端末用）※4		インフォメーションディスプレイ（PNシリーズ） LB-46GX35、LB-52GX35、LB-1085※5、LB-T401、LB-T461、LB-T601、 タッチディスプレイ（LL-P202V、LL-S242A）、LEDディスプレイ（VF-Sシリーズ）	
	その他のソフトウェア		Microsoft Internet Explorer／Microsoft Powerpoint Viewer／ Microsoft Windows Media Player※6／Adobe Flash Player	

変更

形名		e-Signage S プレーヤー	
		PN-SV21	
導入端末		表示用端末	
パソコン	CPU	1.6GHz以上	
	OS※2	Microsoft Windows 8.1/10※3	○
		Microsoft Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019	—
	メモリー	2GB以上	
	ハードディスク	空き容量500MB以上（別途データ保存のための空き容量が必要）	
パネル（表示用端末用）※4		インフォメーションディスプレイ（PNシリーズ） LB-46GX35、LB-52GX35、LB-1085※5、LB-T401、LB-T461、LB-T601、 タッチディスプレイ（LL-P202V、LL-S242A）、LEDディスプレイ（VF-Sシリーズ）	
その他のソフトウェア		Microsoft Internet Explorer 11／Microsoft Windows Media Player 12※6	

取扱説明書 P.23 説明文変更

現 状	e-Signage S をインストールする ・ 管理者権限で操作してください。 ・ サーバーソフトウェアとプレーヤーソフトウェアのインストールには、ライセンスコードが必要です。
変 更	e-Signage S をインストールする ・ e-Signage S のインストール/ライセンス登録/運用は、管理者権限のある同一アカウントで実施してください。 ・ サーバーソフトウェアとプレーヤーソフトウェアのインストールには、ライセンスコードが必要です。

取扱説明書 P.32 参考情報追加

現 状	4 「削除」ラジオボタンを選び、[次へ] をクリックする。
追 加	4 「削除」ラジオボタンを選び、[次へ] をクリックする。 ご参考 「変更」ラジオボタンを選択した場合は、ライセンスコードの再入力が必要です。

取扱説明書 P.38 参考情報 説明文追加

■ライセンス登録する

現 状	ご参考 ・ インストール時に正式なライセンスコードを入力している場合は、別途ライセンス登録を行う必要はありません。
追 加	ご参考 ・ インストール時に正式なライセンスコードを入力している場合は、別途ライセンス登録を行う必要はありません。 ・ e-Signage S のインストール/ライセンス登録/運用は、管理者権限のある同一アカウントで実施してください。

取扱説明書 P.42 参考情報変更 (OS 削除 / 追加)

■スーパーバイザーとしてログインする場合

現 状	ご参考 (～中略～) Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016 にインストールされた Internet Explorer では、セキュリティを高めるため、ページリダイレクションなどの機能が制限されます。
変 更	ご参考 (～中略～) Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019 にインストールされた Internet Explorer では、セキュリティを高めるため、ページリダイレクションなどの機能が制限されます。

取扱説明書 P.55 参考情報追加

現 状	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="268 972 341 1021">項目名</th><th data-bbox="341 972 1503 1021">説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="268 1021 341 1128">⑪ アップロードボタン</td><td data-bbox="341 1021 1503 1128"> ファイルをアップロードします。(58, 65 ページ) ※ フォルダー種別が「プレーヤー A1 - テロップ」のときは表示されません。 </td></tr> </tbody> </table>	項目名	説明	⑪ アップロードボタン	ファイルをアップロードします。(58, 65 ページ) ※ フォルダー種別が「プレーヤー A1 - テロップ」のときは表示されません。
項目名	説明				
⑪ アップロードボタン	ファイルをアップロードします。(58, 65 ページ) ※ フォルダー種別が「プレーヤー A1 - テロップ」のときは表示されません。				
追 加	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="268 1218 341 1267">項目名</th><th data-bbox="341 1218 1503 1267">説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="268 1267 341 1556">⑪ アップロードボタン</td><td data-bbox="341 1267 1503 1556"> ファイルをアップロードします。(58, 65 ページ) ※ フォルダー種別が「プレーヤー A1 - テロップ」のときは表示されません。 ご参考 エクスプローラー画面から、使用するコンテンツファイルをコンテンツフォルダー編集画面にドラッグ&ドロップして登録することもできます。 </td></tr> </tbody> </table>	項目名	説明	⑪ アップロードボタン	ファイルをアップロードします。(58, 65 ページ) ※ フォルダー種別が「プレーヤー A1 - テロップ」のときは表示されません。 ご参考 エクスプローラー画面から、使用するコンテンツファイルをコンテンツフォルダー編集画面にドラッグ&ドロップして登録することもできます。
項目名	説明				
⑪ アップロードボタン	ファイルをアップロードします。(58, 65 ページ) ※ フォルダー種別が「プレーヤー A1 - テロップ」のときは表示されません。 ご参考 エクスプローラー画面から、使用するコンテンツファイルをコンテンツフォルダー編集画面にドラッグ&ドロップして登録することもできます。				

取扱説明書 P.63 参考情報 説明文追加

現 状	項目名		説明
	④	書式	フォント フォントを変更します。 ご参考 ・表示用端末にも同じフォントがインストールされている必要があります。 ・フォントの種類によっては、文字サイズを正確に取得できないものがあり、テロップが表示途中で途切れる場合があります。



追 加	項目名		説明
	④	書式	フォント フォントを変更します。 ご参考 ・表示用端末にも同じフォントがインストールされている必要があります。 ・フォントの種類によっては、文字サイズを正確に取得できないものがあり、テロップが表示途中で途切れる場合があります。 ・表示用端末がプレーヤーA1の場合は、フォントを指定することができません。Android 端末側の表示フォント設定に従って表示されます。

取扱説明書 P.64 参考情報 説明文の一部削除

現 状	ご参考 ・プレーヤーA1用のテロップを HTML タグを使用して 作成した場合、プレビューが正しく表示されないことがあります。正確に表示内容を確認する場合は、実際にプレーヤーA1を搭載した表示用端末に配信して表示を確認してください。	
--------	---	--



変 更	ご参考 ・プレーヤーA1用のテロップを作成した場合、プレビューが正しく表示されないことがあります。正確に表示内容を確認する場合は、実際にプレーヤーA1を搭載した表示用端末に配信して表示を確認してください。	
--------	--	--

取扱説明書 P.76 注意文変更

現 状	項目名		説明
	⑪	プレビュー	作成した番組をプレビューします。【Esc】キーでプレビューを終了します。 ※ プレビューの前に「保存」で番組を保存してください。 ※ プレビュー方法（オリジナルサイズ、画面にフィット）を選択します。 ※ 設定した条件でプレビューを行うことができます。 ※ プレーヤーA1 データを PC 上でプレビューする場合、実際の再生と一部が異なる場合があります。また、一部の動画ファイルや音声ファイルでプレビューできない場合があります。



変 更	項目名		説明
	⑪	プレビュー	作成した番組をプレビューします。【Esc】キーでプレビューを終了します。 ※ プレビューの前に「保存」で番組を保存してください。 ※ プレビュー方法（オリジナルサイズ、画面にフィット）を選択します。 ※ 「表示条件の設定を行う」をチェックすると、再生条件やマルチモニターの条件を指定してプレビューを表示することができます。 ※ プレーヤーA1 データを PC 上でプレビューする場合、実際の再生と一部が異なる場合があります。また、一部の動画ファイルや音声ファイルでプレビューできない場合があります。

取扱説明書 P.78 参考情報追加

■PIP 枠を設定する

追 加	ご参考	
	・ プレーヤーA1 は、PIP には対応していません。 ・ PIP の位置、サイズは、映像信号により多少ずれることがあります。	

■画面サイズを設定する

現 状	ご参考 ・ 各枠や背景のコンテンツが PowerPoint や EXE ファイル、サイネージパーツ、e-Signage WEB ブラウザの場合、表示優先順位に関係なく前面に表示されます。 ・ 背景に動画を表示させた場合、その動画が他の表示枠よりも前面に表示されることがあります。 ・ 動画は背景ではなく表示枠 1 ～ 4 のいずれかに設定してください。
追 加	ご参考 ・ 表示の優先順位を変更することはできません。 ・ 各枠や背景のコンテンツが PowerPoint や EXE ファイル、サイネージパーツ、e-Signage WEB ブラウザの場合、表示優先順位に関係なく前面に表示されます。 ・ 背景に動画を表示させた場合、その動画が他の表示枠よりも前面に表示されることがあります。 ・ 動画は背景ではなく表示枠 1 ～ 4 のいずれかに設定してください。

現状

3

「コンテンツフォルダー」「番組」「パネル制御コマンド」から割り当てるコンテンツを選択する。
「コンテンツフォルダー」「番組」の場合は、グループを選択し、割り当てるコンテンツを表示します。

追加

3

「コンテンツフォルダー」「番組」「パネル制御コマンド」から割り当てるコンテンツを選択する。
「コンテンツフォルダー」「番組」の場合は、グループを選択し、割り当てるコンテンツを表示します。

ご参考

パネル（ディスプレイ）が対応しているコマンドは、「パネル制御の機種別対応表」で確認することができます。「パネル制御の機種別対応表」を表示するには、[対応情報] をクリックします。

パネル制御の機種別対応表の内容は次のとおりです。

項目名	内容	プレーヤー A1対応
RS-232C 接続	RS-232C ケーブルの種類（ストレート、クロスのいずれか）と対応する通信速度を表示します。	×
LAN 接続	LAN 接続に対応しているかどうかを表示します。	○
USB 接続	USB 接続に対応しているかどうかを表示します。	×
電源 ON	「パネル電源 ON」コマンドに対応しているかどうかを表示します。	○
電源 OFF	「パネル電源 OFF」コマンドに対応しているかどうかを表示します。	○
状態取得	状態取得（+110 ページ）に対応しているかどうかを表示します。	○
H/W 異常検出	ハード異常の検出に対応しているかどうかを表示します。	○
時計合わせ	時計合わせ（+108 ページ、125 ページ）に対応しているかどうかを表示します。	○
入力“番号”	パネル(ディスプレイ)の入力端子に対応しているかどうかを表示します。	○
TV 切換	TV 切換に対応しているかどうかを表示します。	○

取扱説明書 P.97 参考情報 説明文追加

現 状	ご参考 ・ 配信が正しく行われたかどうか、配信状況画面で確認してください。(P.98 ページ) ・ 配信には時間がかかります。また、複数パネルに同時配信でも、実際は順番に配信されます。そのため、配信には時間差が発生します。 ・ 過去の配信データは配信されません。本日以降の配信データが配信されます。
追 加	ご参考 ・ 配信が正しく行われたかどうか、配信状況画面で確認してください。(P.98 ページ) ・ 配信には時間がかかります。また、複数パネルに同時配信でも、実際は順番に配信されます。そのため、配信には時間差が発生します。 ・ 過去の配信データは配信されません。本日以降の配信データが配信されます。 ・ 配信できるスケジュール（番組やコンテンツを含みます）の最大合計サイズは 16GB、個々のコンテンツの最大サイズは 4GB です。それを超えるデータは配信できません。 ・ プレーヤーA1 の場合、配信先に（配信ファイルサイズ）×3+200MB の空き容量が必要です。

取扱説明書 P.132 参考情報 説明文変更

現 状	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プリセット番組 (プレーヤーのみ)</td><td> 表示用端末にプリセット番組 / デフォルト番組を配信します。 ご参考 ・ プリセット番組は、e-Signage ランチャーからの番組エディタで作成した番組をアップロードして配信できます。 ・ プリセット番組は、キー／マウス連携ツールで利用します。 ・ デフォルト番組は、e-Signage クライアントスケジューラの「表示する番組が無い時でも表示を行う」の「以下の番組を表示する」で利用します。(P.147 ページ) ・ 表示用端末で表示中の番組を配信することはできません。 </td></tr> </tbody> </table>	項目名	説明	プリセット番組 (プレーヤーのみ)	表示用端末にプリセット番組 / デフォルト番組を配信します。 ご参考 ・ プリセット番組は、e-Signage ランチャーからの番組エディタで作成した番組をアップロードして配信できます。 ・ プリセット番組は、キー／マウス連携ツールで利用します。 ・ デフォルト番組は、e-Signage クライアントスケジューラの「表示する番組が無い時でも表示を行う」の「以下の番組を表示する」で利用します。(P.147 ページ) ・ 表示用端末で表示中の番組を配信することはできません。
項目名	説明				
プリセット番組 (プレーヤーのみ)	表示用端末にプリセット番組 / デフォルト番組を配信します。 ご参考 ・ プリセット番組は、e-Signage ランチャーからの番組エディタで作成した番組をアップロードして配信できます。 ・ プリセット番組は、キー／マウス連携ツールで利用します。 ・ デフォルト番組は、e-Signage クライアントスケジューラの「表示する番組が無い時でも表示を行う」の「以下の番組を表示する」で利用します。(P.147 ページ) ・ 表示用端末で表示中の番組を配信することはできません。				
追 加	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プリセット番組 (プレーヤーのみ)</td><td> 表示用端末にプリセット番組 / デフォルト番組を配信します。 ご参考 ・ プリセット番組は、e-Signage ランチャーからの番組エディタで作成した番組をアップロードして配信できます。 ・ プリセット番組は、キー／マウス連携ツールで利用します。 ・ デフォルト番組は、e-Signage クライアントスケジューラの「表示する番組が無い時でも表示を行う」の「以下の番組を表示する」で利用します。(P.147 ページ) ・ 表示用端末で番組再生中にプリセット番組を配信しないでください。 「再生を一時中断」で再生を中断してから番組を配信し、配信完了後再度「再生を再開」をクリックしてください。) </td></tr> </tbody> </table>	項目名	説明	プリセット番組 (プレーヤーのみ)	表示用端末にプリセット番組 / デフォルト番組を配信します。 ご参考 ・ プリセット番組は、e-Signage ランチャーからの番組エディタで作成した番組をアップロードして配信できます。 ・ プリセット番組は、キー／マウス連携ツールで利用します。 ・ デフォルト番組は、e-Signage クライアントスケジューラの「表示する番組が無い時でも表示を行う」の「以下の番組を表示する」で利用します。(P.147 ページ) ・ 表示用端末で番組再生中にプリセット番組を配信しないでください。 「再生を一時中断」で再生を中断してから番組を配信し、配信完了後再度「再生を再開」をクリックしてください。)
項目名	説明				
プリセット番組 (プレーヤーのみ)	表示用端末にプリセット番組 / デフォルト番組を配信します。 ご参考 ・ プリセット番組は、e-Signage ランチャーからの番組エディタで作成した番組をアップロードして配信できます。 ・ プリセット番組は、キー／マウス連携ツールで利用します。 ・ デフォルト番組は、e-Signage クライアントスケジューラの「表示する番組が無い時でも表示を行う」の「以下の番組を表示する」で利用します。(P.147 ページ) ・ 表示用端末で番組再生中にプリセット番組を配信しないでください。 「再生を一時中断」で再生を中断してから番組を配信し、配信完了後再度「再生を再開」をクリックしてください。)				

取扱説明書 P.141 参考情報追加

追加	ご参考 ・インポート先のパソコンに既に同じ名前のコンテンツフォルダー/番組/スケジュールがある場合、確認ダイアログボックスが表示されます。上書きするか、番組名を変更してインポートするか選択してください。
----	---

取扱説明書 P.144 参考情報追加

追加	ご参考 ・エクスポートしたスケジュールデータには、番組、コンテンツフォルダーも含まれます。 - また、エクスポートした番組データには、コンテンツフォルダーも含まれます。
----	---

取扱説明書 P.151 参考情報 説明文変更

現状	ご参考 e-Signage S のプレーヤーをインストールした場合、独自の FTP サーバーがインストールされサービスとして起動されます。デフォルトの TCP/IP ポート番号は 20 と 21 になっています。もし、他のサービスなどでこのポート番号が使用されている場合には、ポート番号を変更してください。また、管理用 PC の「パネル管理」で登録した各パネルの FTP 設定も同じポート番号に設定しておく必要があります。
変更	ご参考 e-Signage S のプレーヤーをインストールした場合、独自の FTP サーバーがインストールされ、起動されます。もし、デフォルトのポート番号 21 が他のサービスなどで使用されている場合には、ポート番号を変更してください。 また、管理用 PC の「パネル管理」で登録した各パネルの FTP 設定も同じポート番号に設定しておく必要があります。Windows ファイアウォールを有効にしている場合、コントロールパネルの「Windows ファイアウォール」で実行ファイル"C:¥Program Files (x86)¥SHARP ¥e-Signage¥ftpd.exe"※ を例外プログラムに指定して接続を許可することが可能です。 ※：32 ビット版の OS では、"C:¥Program Files¥SHARP¥e-Signage¥ftpd.exe" になります。

第2章 Ver.1.1.2.27～Ver.1.1.2.38 で追加された機能のご利用方法

第2章では、e-Signage S Ver.1.1.2.27～Ver.1.1.2.38 で追加された新しい機能の利用方法について説明します。

e-Signage S Ver.1.1.2.27～Ver.1.1.2.38 では、以下の項目について対応を行いました。

1. ディスプレイ新機種に対応しました。（Ver.1.1.2.27およびVer.1.1.2.30より対応）
2. Windows Server 2019に対応しました。（Ver.1.1.2.30より対応）
3. コンテンツフォルダー内のコンテンツファイルを複数選択して、プロパティや再生条件をまとめて設定できるようにしました。（Ver.1.1.2.27より対応）
4. 各コンテンツフォルダーに対応したURLを表示する機能を追加し、直接コンテンツフォルダーにアクセスできるようにしました。（Ver.1.1.2.27より対応）
5. 表示用端末側パスで指定したファイルの拡張子に応じて、設定可能なプロパティを表示するようにしました。（Ver.1.1.2.27より対応）
6. コンテンツフォルダーや番組のプレイリストに再生時間の合計を表示する機能を追加しました。（Ver.1.1.2.27より対応）
7. コンテンツフォルダー管理画面や番組作成エリアからプレイリストを印刷できるようにしました。（Ver.1.1.2.30より対応）
8. 番組のプレイリストから直接コンテンツフォルダーを表示/編集できるようにしました。（Ver.1.1.2.30より対応）
9. チャンネルセット機能を追加しました。（WEBサーバー版、Pro版のみ）（Ver.1.1.2.36より対応）
10. スケジュール作成エリアのコンテンツフォルダー、番組、パネル制御コマンド、タイムテーブルのドラッグ&ドロップ操作による移動を、同じ日付の時間帯の移動だけでなく、別の日付にも移動できるようにしました。（Ver.1.1.2.36より対応）
11. パネル管理画面や配信画面など、登録されているパネルの一覧が表示される画面で、パネルの表示順序をソートできるようにしました。（Ver.1.1.2.30より対応）
12. パネル管理画面から、パネルのデータをインポート・エクスポートできるようにしました。（Ver.1.1.2.30より対応）

1. ディスプレイ新機種に対応しました。

下記のディスプレイ新機種のパネル制御機能に対応しました。各ディスプレイのパネル制御機能の対応内容につきましては、状態監視・制御画面の [対応情報] ボタンからご確認ください。

- ・ PN-L851H / L751H / L651H（Ver.1.1.2.27 より対応）
- ・ PN-V605H（Ver.1.1.2.30 より対応）
- ・ PN-Y326A（Ver.1.1.2.30 より対応）

2. Windows Server 2019 に対応しました。

Windows Server 2008 / 2008 R2 については、2020 年 1 月 14 日の OS サポート終了を受けて、e-Signage S の動作サポート対象外とし、新たに Windows Server 2019 を動作対象に追加しました。Ver.1.1.2.30 以降で正しく動作することを確認しています。

3. コンテンツフォルダー内のコンテンツファイルを複数選択して、プロパティや再生条件をまとめて設定できるようにしました。

コンテンツフォルダー内に格納されている複数のコンテンツファイルに対して、プロパティや再生条件をまとめて設定できるようになりました。



① コンテンツファイルのチェックボックスにチェックを入れ、複数のファイルが選択された状態にします。

② プロパティを設定する場合は  を再生条件を設定する場合は  をクリックします。

4. 各コンテンツフォルダーに対応したURLを表示する機能を追加し、直接コンテンツフォルダーにアクセスできるようにしました。

ダッシュボード画面やコンテンツフォルダー管理画面を経由することなく、直接各コンテンツフォルダーにアクセスして、コンテンツファイルを確認/編集できるようになりました。各コンテンツフォルダーにアクセスするための URL をコピーし、WEB ブラウザ画面の URL 入力部に貼付/アクセスすることで、各コンテンツフォルダーを確認/編集することができます。

コンテンツフォルダーのURLを表示して、クリップボードにコピーする。

- 1** e-Signage S を起動し、ダッシュボード画面を表示します。
デスクトップのアイコンなどから e-Signage S を起動します。
- 2** [コンテンツフォルダー管理]をクリックします。
コンテンツフォルダー管理画面を表示します。
- 3** URLを表示するコンテンツフォルダーの  アイコンをクリックします。
コンテンツフォルダーのコンテンツファイル管理画面を表示します。
- 4** フォルダー詳細セクションの右上にある  アイコンをクリックします。
コンテンツフォルダーのリンクを表示します。
- 5** [クリップボードにコピー]ボタンをクリックします。
表示されているURLがクリップボードにコピーされます。



コピーしたURLをWEBブラウザのURL入力部に貼り付けしてアクセスすることで、ダッシュボード画面やコンテンツフォルダー管理画面を経由することなく、コンテンツフォルダーを確認/編集することができます。

注意事項

e-Signage S を Internet Explorer 11 でご使用頂いている場合、クリップボードへのアクセス許可を確認する画面が表示されることがあります。このような画面が表示されたときには、[アクセスを許可する]ボタンをクリックして、URL が正しくクリップボードへコピーできるようにしてください。[許可しない]ボタンをクリックした場合、「URL は正しくクリップボードにコピーされました。」というメッセージが表示されますが、URL はクリップボードへコピーできていません。[許可しない]ボタンをクリックした場合には、クリップボードへのアクセス許可を確認する画面が表示されなくなるため、ブラウザの[最新の情報に更新]アイコンをクリックするか、キーボードの[F5]キーを押下して一度画面を更新した後に上記 4～5 の手順を再度実施し、改めて表示されるクリップボードへのアクセス許可を確認する画面で[アクセスを許可する]ボタンをクリックしてください。

5. 表示用端末側パスで指定したファイルの拡張子に応じて、設定可能なプロパティを表示するようにしました。

コンテンツフォルダー管理画面で表示用端末側パスによるコンテンツを追加する際、入力されたファイルパスで指定されているファイルの拡張子に応じて、プロパティ画面を更新するボタンを追加しました。

表示用端末側のファイルパスを入力し、
[プロパティ画面更新]ボタンをクリックします。

入力されたファイルの拡張子に応じて
プロパティ画面が更新されます。

6. コンテンツフォルダーや番組のプレイリストに再生時間の合計を表示する機能を追加しました。

各コンテンツフォルダーや番組の各表示枠/背景枠/テロップ枠/音声枠について、プレイリスト上に再生時間を表示するようにしました。コンテンツフォルダーのコンテンツファイルを追加/削除した際や、番組各枠のコンテンツフォルダー等を追加/削除した際に、その作業によって再生時間がどのように変化するのかわかりやすくなります。



コンテンツフォルダーの再生時間が
フォルダー再生時間 として表示されます。



各枠(例として表示枠 1)の再生時間が
表示枠 1 再生時間 として表示されます。

各枠に追加されているコンテンツフォルダーの
再生時間も表示されます。

注意事項

表示されるフォルダー再生時間や各枠の再生時間などについては、コンテンツファイルに対して設定した再生条件を考慮せず、再生条件が設定されていない状態での各コンテンツファイルの再生時間を合算した時間が表示されます。そのため、コンテンツファイルに対して再生条件が設定されている場合は、表示されている再生時間と実際の端末上の再生時間が異なります。システム運用時には、事前に配信データを実際に配信/表示して、意図した通り表示されるかどうか確認してください。

7. コンテンツフォルダー管理画面や番組作成エリアからプレイリストを印刷できるようにしました。

コンテンツフォルダー管理画面や番組作成エリアからプレイリストを、印刷専用のレイアウトで印刷できるようにしました。

1 印刷したい画面から印刷ボタンをクリックします。

① コンテンツフォルダー管理画面

印刷したいコンテンツフォルダーを開き



アイコンをクリックします。

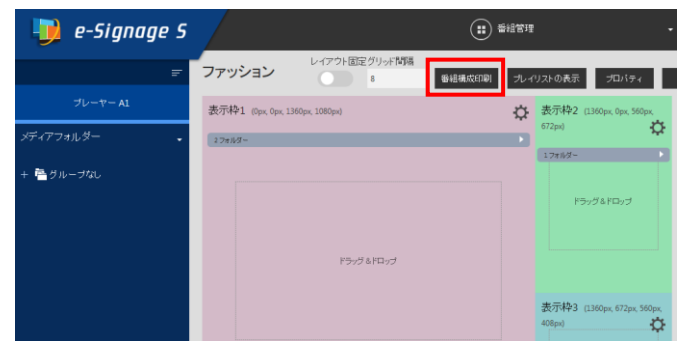


② 番組作成エリア

番組管理画面から印刷したい番組を選び、

番組作成エリアを開き [番組構成印刷] ボタンを

クリックします。



2 画面右上の [印刷] ボタンをクリックします。

印刷設定画面が開きますので指示に従って印刷を行います。

コンテンツフォルダー管理画面の印刷専用レイアウト



番組作成エリアの印刷専用レイアウト



注意事項

- Internet Explorer 11 から印刷する場合：
[ファイル]メニューの[ページ設定]から[背景の色とイメージを印刷する]を有効にしてから印刷してください。
- Microsoft Edge から印刷する場合：
Microsoft Edge では、背景の色を印刷することができないため、印刷される際は Internet Explorer 11、または、Google Chrome をご利用頂く必要があります。

⇒ Microsoft Edge で表示中のページを Internet Explorer 11 で開く方法：

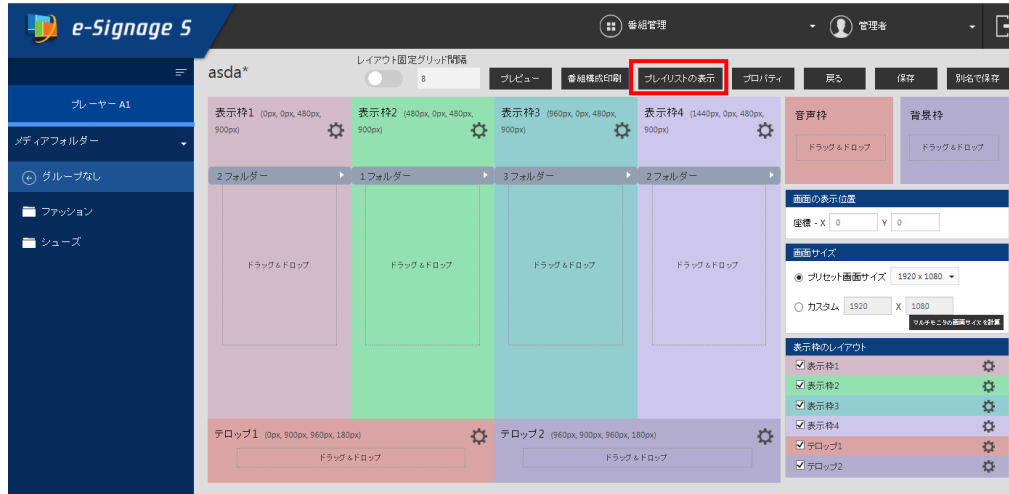


アイコンをクリックして[その他のツール]から[Internet Explorer で開く]を選びます。

8. 番組のプレイリストから直接コンテンツフォルダーを表示/編集できるようにしました。

番組のプレイリストの表示画面から直接コンテンツフォルダーを表示して、コンテンツファイルの追加/削除などの編集を行えるようにしました。

- 1 番組作成エリアの[プレイリストの表示]ボタンをクリックします。
プレイリストの確認画面を表示します。



- 2 編集したいコンテンツフォルダーの  アイコンをクリックします。
別のウィンドウでコンテンツフォルダーの編集画面が表示されます。



- 3 コンテンツファイルの削除/追加などの編集を行います。
編集内容は番組管理のプレイリストにリアルタイムで反映されます。



9. チャンネルセット機能を追加しました（WEBサーバー版、Pro版限定）

通常の配信では、管理用 PC で作成したスケジュールに従って番組を表示するのに対して、あらかじめチャンネルセットを表示端末側に配信してキーに登録しておけば、通常配信コンテンツを表示中でも表示端末側のキー操作により、チャンネル登録したコンテンツフォルダーや番組に切り替えることができます。

チャンネルセットは複数のチャンネル番号の集まりで、各チャンネル番号には 1 つのコンテンツフォルダーまたは番組が登録されています。

ご参考

e-Signage Ver4.7 のプリセット番組と同じ用途でご利用いただけますが、e-Signage S のチャンネルセット機能では、番組だけでなく、コンテンツフォルダーも登録でき、また配信画面から配信できるようになりました。

- 1 ダッシュボード画面の[スケジュール管理]の右上にある  ボタンをクリックします。
[スケジュール管理]が[チャンネルセット管理]に変わります。



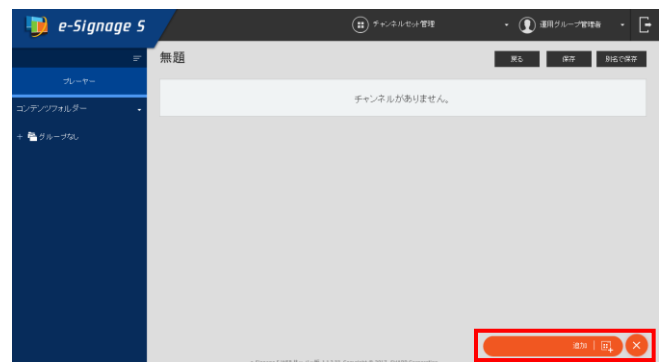
- 2 [チャンネルセット管理]をクリックします。
チャンネルセット管理画面が表示されます。



- 3 画面右下の  ボタンをクリックして、追加を選びます。
チャンネルセット編集画面が表示されます。



- 4 画面右下の  ボタンをクリックして、追加を選びます。
チャンネルの追加画面が表示されます。



- 5 [チャンネル番号]を入力し、OKをクリックします。
チャンネルが登録されます。

チャンネルの追加

チャンネル番号	1
詳細	朝の番組

OK キャンセル

- 6 登録したいコンテンツフォルダーや番組をドラッグ&ドロップします。
コンテンツフォルダーや番組がチャンネルに割り当てられます。



- 7 [保存]をクリックします。
チャンネルセットの保存画面が表示されます。



- 8 [チャンネルセット名]を入力して、チャンネルセットを保存します。



- 9 配信画面にて、[プレーヤー]を選び、[コンテンツフォルダー]から[チャンネルセット]を選びます。
登録されているチャンネルセットのリストが表示されます。



- 10 配信したいパネルにチャンネルセットをドラッグ&ドロップします。
パネルにチャンネルセットが割り付けられます。

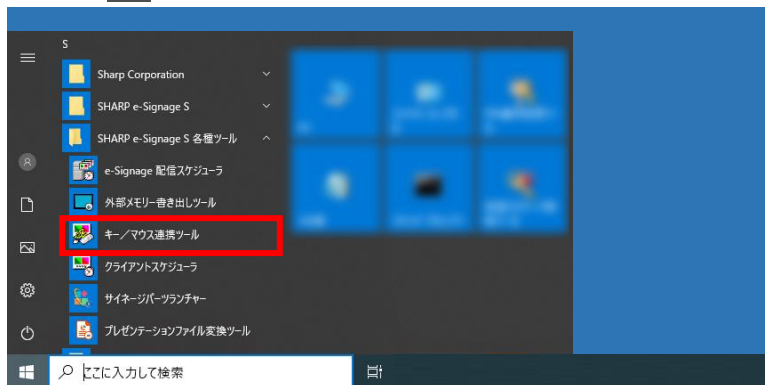


- 11** パネルをクリックして選択状態にした上で、画面右下の  ボタンをクリックして、[配信]を選びます。
プレーヤーにチャンネルセットが配信されます。

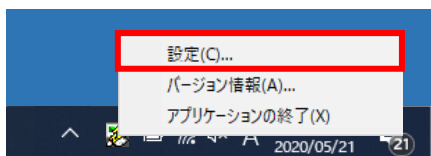


以降は、「表示用PC」での操作手順になります。

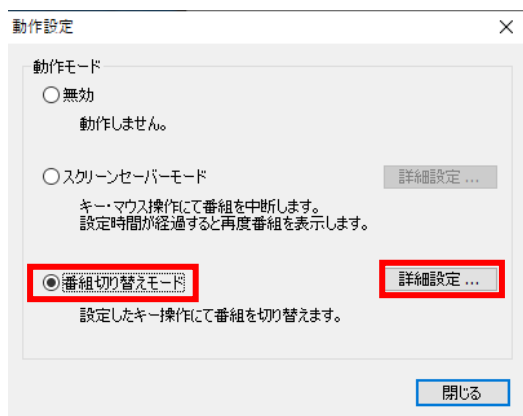
- 12** [SHARP e-Signage S 各種ツール]から[キー/マウス連携ツール]を選びます。
タスクバーに  アイコンが表示されます。（常駐アプリとして起動します。）



- 13** タスクバーの  アイコンを右クリックして [設定] を選びます。
動作設定の画面が表示されます。

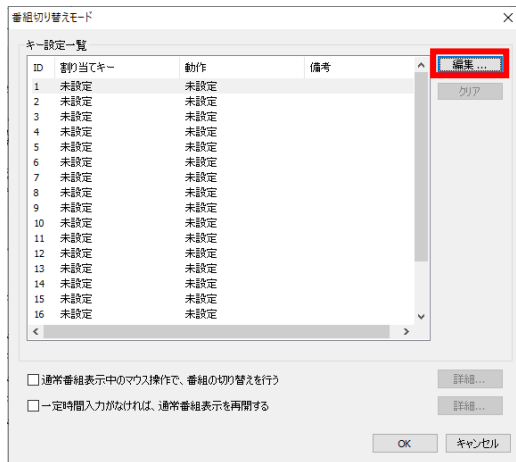


- 14** [番組切り替えモード] にチェックを入れて、[詳細設定]をクリックします。
番組切り替えモードの一覧画面が表示されます。



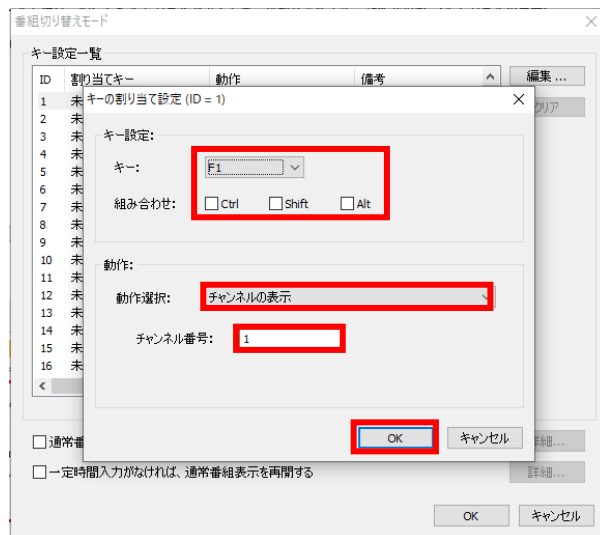
15 任意のIDを選択して、[編集]ボタンをクリックします。

キーの割り当て設定画面が表示されます。



16 割り当てるキーを選択して、[動作選択]から[チャンネルの表示]を選び、[チャンネル番号]を入力して、OKをクリックします。

配信したチャンネルセットがキーに割り当てられました



17 任意のタイミングで割り当てたキーを押して再生を行います。

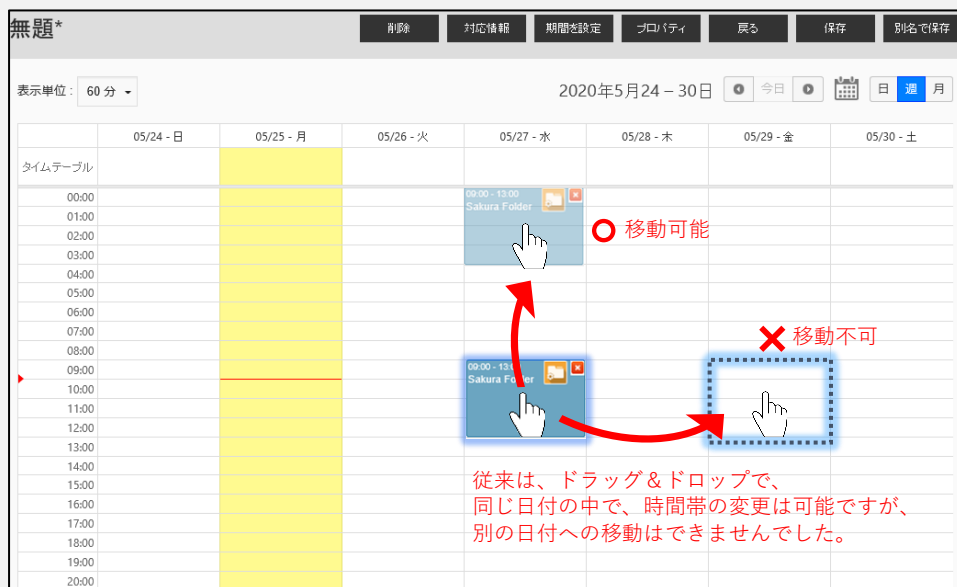
注意事項

- ・この機能をご利用される場合は、管理用 PC / 表示用 PC のいずれも、Ver.1.1.2.36 以降にアップデートする必要があります。また、プレーヤーA1 では、この機能をご利用いただくことができません。

10. スケジュール作成エリアのコンテンツフォルダー、番組、パネル制御コマンド、タイムテーブルのドラッグ&ドロップ操作による移動を、同じ日付の時間帯の移動だけでなく、別の日付にも移動できるようにしました。

週表示、月表示のスケジュール編集画面で、コンテンツフォルダー、番組、パネル制御コマンド、タイムテーブルをドラッグ&ドロップにより、別の日付へ移動できるようにしました。

従来 同じ日付の中で時間帯の変更のみ可能であり、別の日付への移動はできませんでした。



週表示 時間帯の変更だけでなく、別の日付への移動もできるようにしました。



月表示 別の日付への移動を可能にしました。

無題*

削除 対応情報 プロパティ 戻る 保存 別名で保存

2020年 5月 今日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

Sakura Folder 1フォルダ

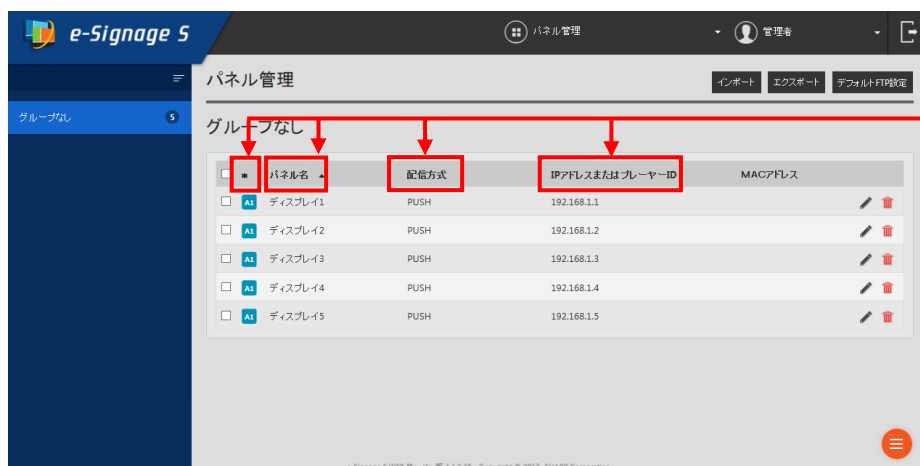
Sakura-Folder

移動可能

Ver.1.1.2.36 より、
ドラッグ&ドロップで別の日付へ移動することが
可能となりました。

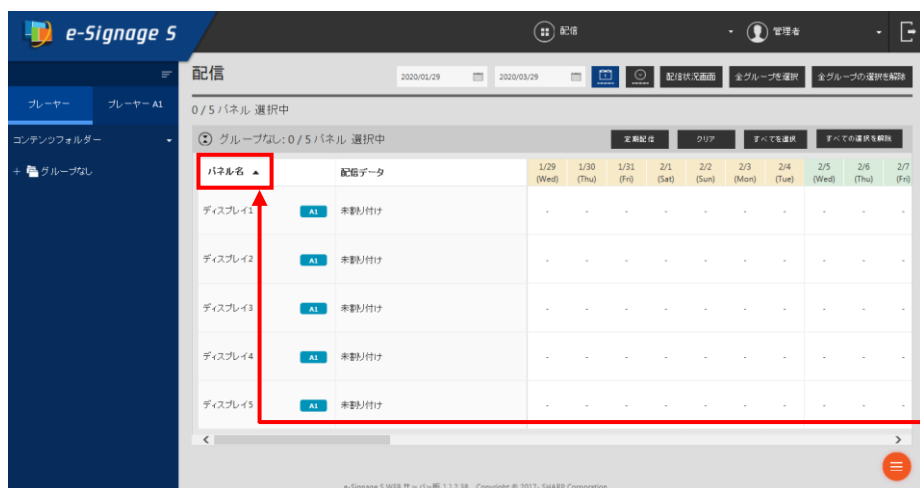
11. パネル管理画面や配信画面など、登録されているパネルの一覧が表示される画面で、パネルの表示順序をソートできるようにしました。

パネル管理画面では、[パネル種別]、[パネル名]、[配信方式]、[IP アドレスまたはプレーヤーID]でパネルをソートできるようにしました。他に、配信画面や状態監視・制御画面など、パネルがリストアップされる画面では[パネル名]でソートできるようにしました。画面を閉じると、デフォルトの並び順に戻ります。

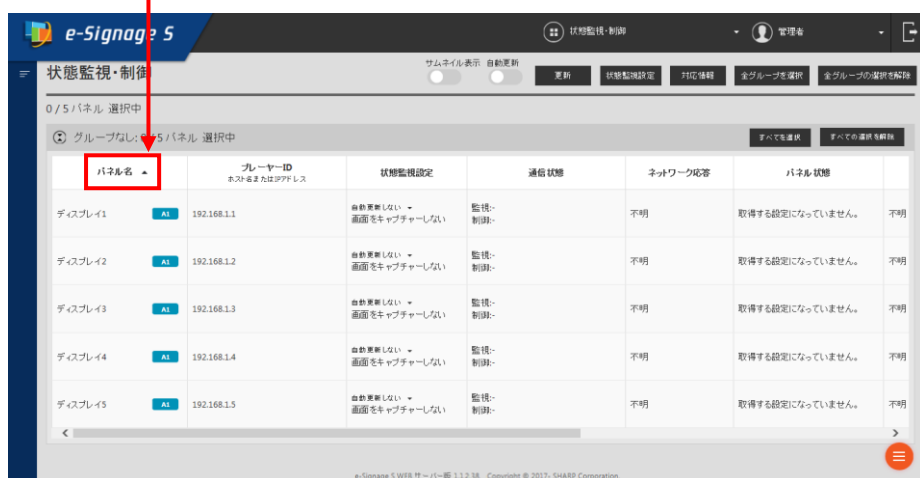


ソートする項目名をクリックします。
1度目のクリックで昇順に、2度目のクリックで降順にソートできます。
昇順にソートした時は、項目名の横に▲が表示され、降順の時は▼が表示されます。
パネル管理画面では、下記項目でソートすることができます。

- ・[パネル種別]
- ・[パネル名]
- ・[配信方式]
- ・[IP アドレスまたはプレーヤーID]



同じように配信画面や状態監視・制御画面など、パネルがリストアップされる画面で [パネル名]の項目名をクリックすると昇順/降順にソートできます。



12. パネル管理画面から、パネルのデータをインポート・エクスポートできるようにしました。

パネル管理画面から登録されているすべてのパネルのデータを CSV ファイル形式でインポート・エクスポートできるようにしました。これにより、エクスポートした CSV ファイルを Excel などの編集ソフトを使って編集し、インポートすることができます。CSV ファイルの編集方法につきましては、P.50 **(付録) パネルのインポート・エクスポート機能の利用方法について** をご覧ください。

1 パネル管理画面から[エクスポート]ボタンをクリックします。

CSVファイルをダウンロードします。



2 編集ソフトを使って、エクスポートしたCSVファイルを編集します。

CSVファイルの編集方法は、P.50 **(付録) パネルのインポート・エクスポート機能の利用方法について** をご覧ください。

3 [インポート]ボタンをクリックします。

CSVファイルを選択して、インポートします。



注意事項

- ・ Excel で編集される場合、自動変換機能により、フォーマットが崩れることがあります。

Excel を使用される場合は、必ず P.57 **Excel を使用してエクスポートデータを開く手順** に従って作業してください。

第3章 Ver.1.1.2.43 のバージョンで追加された機能のご利用方法

第3章では、e-Signage S Ver.1.1.2.43 で追加した新しい機能の利用方法について説明します。

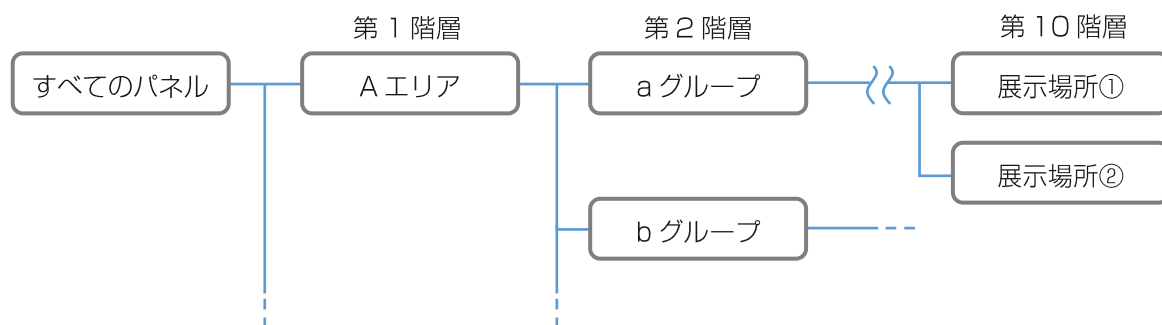
e-Signage S Ver.1.1.2. 43 のバージョンでは、以下の項目について対応を行いました。

1. パネルグループの階層管理機能を追加しました。
2. スケジュール編集が、キーボードを使ったコピー、ペースト、削除をできるようにしました。

1. パネルグループの階層管理機能を追加しました。（WEBサーバー版、Pro版限定）

WEB サーバー版および Pro 版で、登録したパネルをグループごとに管理する際に、階層化したパネルグループを作成できるようにしました。

- ・パネルグループの階層は、第10階層まで作成することができます。
- ・WEB サーバー版は、パネルグループごとにアクセス権限を設定することができます。



ご参考

- ・パネルグループの[アクセス権限]に登録されたユーザーグループは、パネルグループを選択することで、そのパネルグループに属するパネルを閲覧できます。
[アクセス権限]に登録されていないユーザーグループは、パネルグループを選択しようとした場合に禁止アイコン  が表示され、そのパネルグループを選択したり、パネルグループに登録されているパネルを閲覧することができません。
- ・[アクセス権限]に登録されていないユーザーグループでも、階層化されたパネルグループの構成やパネルグループ名を確認することができます。アクセス権限が無いユーザーグループに、階層化されたパネルグループの構成やすべてのパネルグループ名を見せたくない場合は、別の運用グループを作成し、パネルグループを別で管理してください。
- ・パネルを選択した後で、パネルグループの階層を移動すると（パネルを選択したパネルグループとは異なるパネルグループを選ぶと）パネルの選択状態がリセットされ、パネルは非選択状態になります。

- 1 パネル管理画面で  ボタンをクリックします。
パネルグループの追加画面が表示されます。



- 2 追加するパネルグループを入力します。
パネルグループ名を入力し、親パネルグループ、アクセス権限を指定します。下位層のすべての子パネルグループに
共通のアクセス権限を設定する場合は、[アクセス権をすべての子グループに設定]をチェックします。

- 3 パネルグループ管理エリアの  ボタンをクリックし、 ボタンをクリックします。
プレーヤータイプの選択画面が表示されます。



4 [プレーヤータイプ]を選択します。



5 [パネル名]、[ホスト名またはIPアドレス]を入力し、パネルグループを選択して、[追加]をクリックします。 選択したパネルグループにパネルが追加されます。

パネル追加 (プレーヤー)

パネル名

グループ

- すべてのパネル
- A店舗
- 食品
- パン**
- 惣菜

ホスト名またはIPアドレス

MACアドレス - - - - -

表示用端末の起動にはMACアドレスが必要です。

配信方式
☒ PUSH型配信
☐ PULL型配信

FTP設定
 ユーザー パスワード ポート番号

電源制御
☐ 指定した時刻に管理用PCから表示用端末の電源ON/OFFを指示する
 起動時刻 : 終了時刻 :

時計合わせ
☐ 表示用端末の時計を管理用PCの時計に合わせる
 同期時刻 :

属性
 コメント1
 コメント2
 コメント3

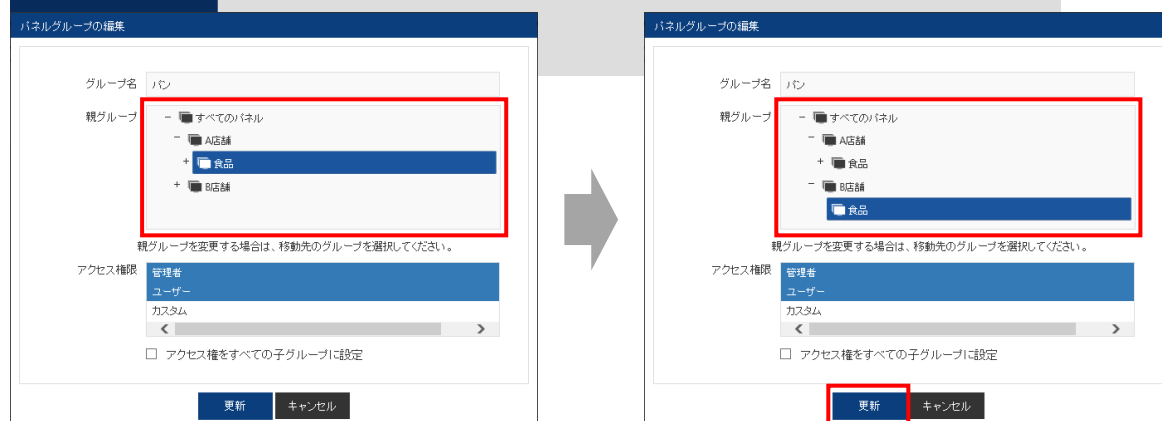


以下は、パネルグループが所属する[親グループ]を変更する際の操作手順です。

- 1 親グループを変更したいパネルグループにマウスカーソルを重ねて、表示された  ボタンをクリックします。



2



- 3 手順2で指定した親グループの所属に、パネルグループが移動します。



以下は、パネルが所属するパネルグループを変更する際の操作手順です。

- 1 所属するパネルグループを変更したいパネルの  ボタンをクリックします。



- 2 パネルが所属する[パネルグループ]を変更し、[更新]ボタンをクリックします。



- 3 手順4で指定したパネルグループに、パネルが移動します。

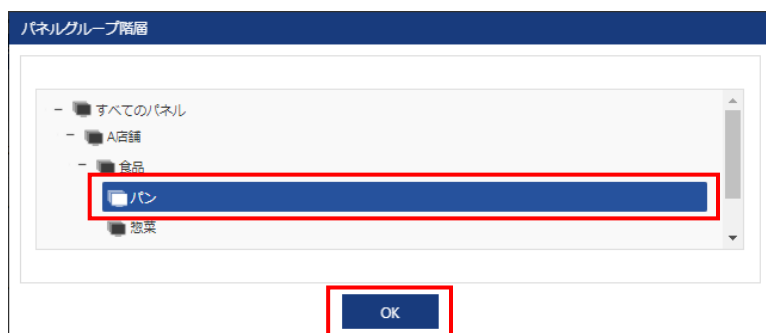


以下は、階層管理機能が追加されたパネルグループを使用して配信を行う際の操作手順です。
臨時番組配信、緊急テロップ配信、状態監視・制御、パネル側データ確認、プレーヤー更新についても
配信と同じ操作で、階層管理されたパネルグループを表示できます。

- 1 [すべてのパネル]の  ボタンをクリックし、パネルグループ階層選択を表示します。



- 2 パネルグループを選択した後、[OK]ボタンを押して、そのパネルグループ階層に移動します。



- 3 選択しているパネルグループと、子パネルグループに登録しているパネルを表示します。
パネル名の欄には、パネル名とそのパネルが登録されているパネルグループ階層を表示します。



パネルグループ階層は、パンくずリストに表示している現在の階層を[(.)]マークで表示し、子パネルグループを[>]マークで階層的に表示します。下の画面では、[食品]のパネルグループを選択していますので、その子パネルグループの[パン]に登録しているディスプレイ-30の表示は、[(.)>パン]になります。



ご参考

- ・[定期配信設定]の[子パネルグループにも追加]をチェックした場合は、作成した定期配信ルールが、子パネルグループにも登録されます。

2. スケジュール作成エリアのコンテンツフォルダー、番組、パネル制御コマンド、タイムテーブルなどの項目を複数選択し、コピー、ペースト、削除できるようになりました。

日、週、月の各画面上で、キーボードとマウスを使用して項目を選択し、キーボードでコピー、ペースト、削除できます。

各キーの操作方法は下記のとおりです。

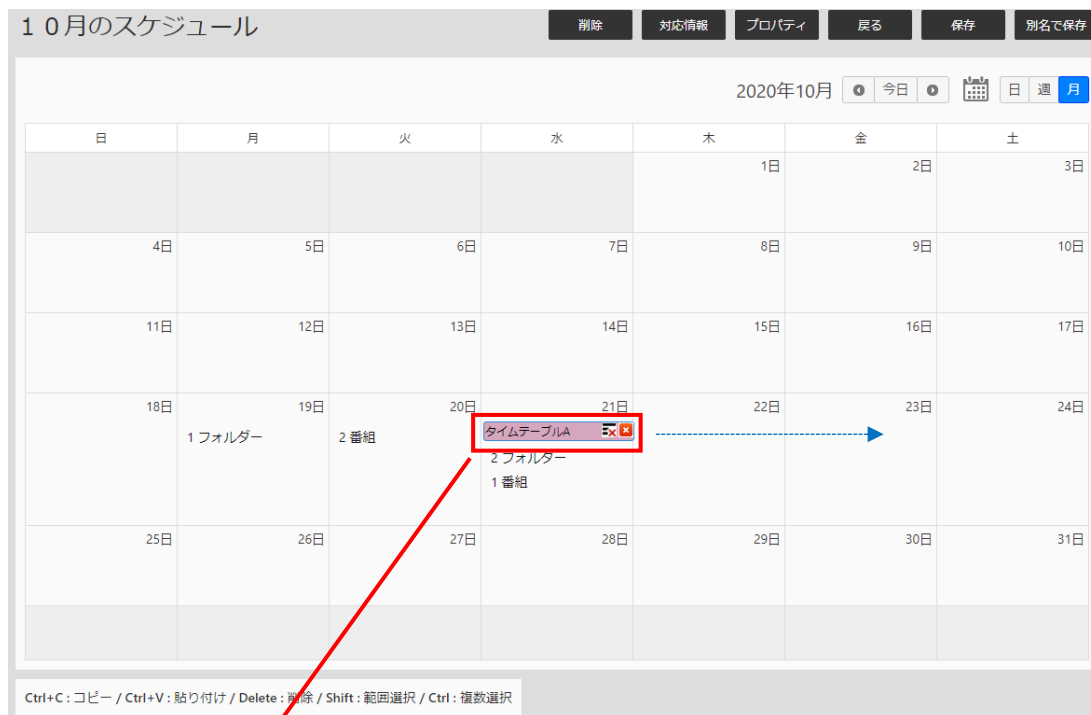
操作	キー	説明
複数選択	Ctrl キーを押しながら項目をクリックして選択	複数の項目を個別に選択します。
範囲選択	Shift キーを押しながら項目をクリックして選択	複数の項目を範囲で選択します。
コピー	Ctrl+C キー	選択している項目をコピーします。
ペースト	Ctrl+V キー	コピーした項目をペーストします。
削除	Delete キー	選択している項目を削除します。

●タイムテーブルを選択し、Ctrl+C キーでコピー、Ctrl+V キーでペーストして複製できます。

●番組を選択し、Ctrl+C キーでコピー、Ctrl+V キーでペーストして複製できます。

●コンテンツフォルダーを選択し、Ctrl+C キーでコピー、Ctrl+V キーでペーストして複製できます。

●パネル制御コマンドを選択し、Ctrl+C キーでコピー、Ctrl+V キーでペーストして複製できます。



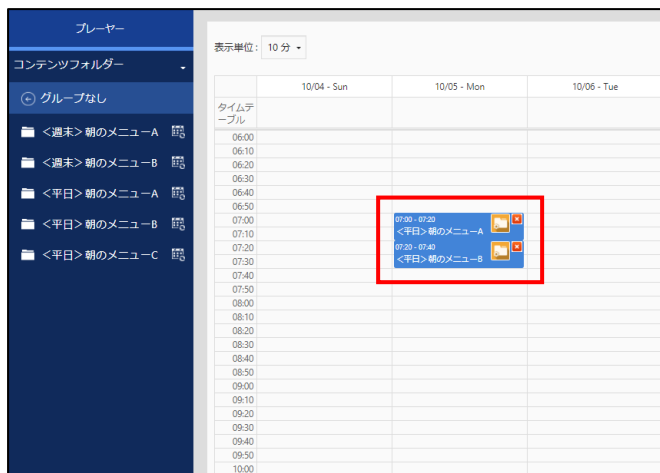
- タイムテーブルを選択し、Ctrl+C キーでコピー、Ctrl+V キーでペーストして複製できます。

注意事項

- ・タイムテーブルを選択した状態でペーストすると、選択したタイムテーブルの翌日からペーストされます。タイムテーブルを選択せずにペーストした場合は、タイムテーブルが登録されていない先頭の日からペーストされます。

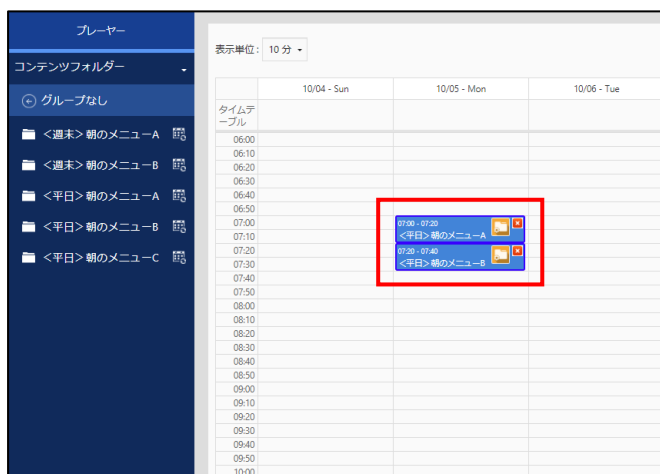
週末のタイムテーブルと平日のタイムテーブルを作成し、1週間のスケジュールを次の週にコピーする方法を説明します。

1 月曜日の朝7：00から、2つのコンテンツフォルダーを配置します。



2 2つのコンテンツフォルダーを選択します。

[<平日>朝のメニュー-A]を選択した後、Shiftキーを押しながら、[<平日>朝のメニュー-B]を選択します。2つのコンテンツフォルダーが選択された状態になります。

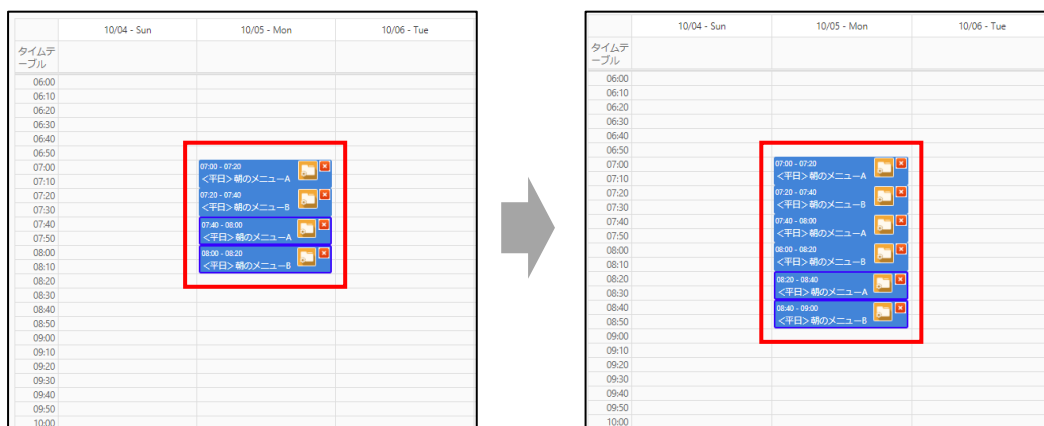


3 選択した2つのコンテンツフォルダーをコピーします。

Ctrlキーを押しながらCキーを押して、コピーします。

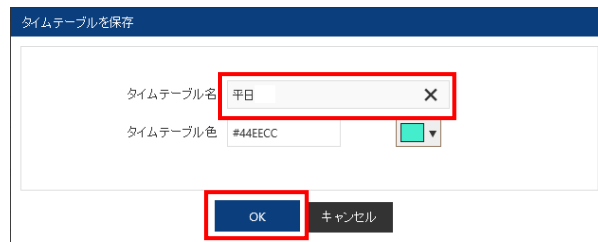
4 2つのコンテンツフォルダーを9：00まで複製します。

Ctrlキーを押しながらVキーを押します。選択しているコンテンツフォルダーから次の空きスペースに複製されます。再度、Ctrlキーを押しながらVキーを押します。次の空きスペースに複製され、9：00までのスケジュールが完成します。



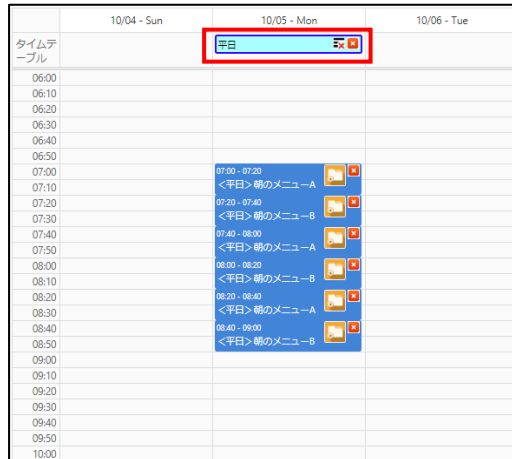
5 月曜日に[平日]のタイムテーブルを作成します。

月曜日のタイムテーブル欄をクリックして「タイムテーブルを保存」画面を表示します。
タイムテーブル名に「平日」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



6 タイムテーブルを火曜日から金曜日まで複製します。

[平日]のタイムテーブルを選択した後、Ctrlキーを押しながらCキーを押してコピーします。



Ctrl キーを押しながら V キーを押して、空きスペースにペーストします。タイムテーブルを火曜日から金曜日まで複製します。



7 平日のスケジュール作成と同じ手順で、週末のスケジュールを作成します。

日曜日の7:00から2つのコンテンツフォルダーを配置し、9:00まで複製します。

週末のタイムテーブルを作成し選択します。Ctrlキーを押しながらCキーを押して、コピーします。

	10/04 - Sun	10/05 - Mon	10/06 - Tue	10/07 - Wed	10/08 - Thu	10/09 - Fri	10/10 - Sat
タイムテーブル	週末	平日	平日	平日	平日	平日	
06:00							
06:10							
06:20							
06:30							
06:40							
06:50							
07:00	07:00 - 07:20 <週末> 朝のメニュー-A	07:00 - 07:20 <平日> 朝のメニュー-A	07:00 - 07:20 <平日> 朝のメニュー-A	07:00 - 07:20 <平日> 朝のメニュー-A	07:00 - 07:20 <平日> 朝のメニュー-A	07:00 - 07:20 <平日> 朝のメニュー-A	07:00 - 07:20 <平日> 朝のメニュー-A
07:10							
07:20	07:20 - 07:40 <週末> 朝のメニュー-B	07:20 - 07:40 <平日> 朝のメニュー-B	07:20 - 07:40 <平日> 朝のメニュー-B	07:20 - 07:40 <平日> 朝のメニュー-B	07:20 - 07:40 <平日> 朝のメニュー-B	07:20 - 07:40 <平日> 朝のメニュー-B	07:20 - 07:40 <平日> 朝のメニュー-B
07:30							
07:40	07:40 - 08:00 <週末> 朝のメニュー-A	07:40 - 08:00 <平日> 朝のメニュー-A	07:40 - 08:00 <平日> 朝のメニュー-A	07:40 - 08:00 <平日> 朝のメニュー-A	07:40 - 08:00 <平日> 朝のメニュー-A	07:40 - 08:00 <平日> 朝のメニュー-A	07:40 - 08:00 <平日> 朝のメニュー-A
07:50							
08:00	08:00 - 08:20 <週末> 朝のメニュー-B	08:00 - 08:20 <平日> 朝のメニュー-B	08:00 - 08:20 <平日> 朝のメニュー-B	08:00 - 08:20 <平日> 朝のメニュー-B	08:00 - 08:20 <平日> 朝のメニュー-B	08:00 - 08:20 <平日> 朝のメニュー-B	08:00 - 08:20 <平日> 朝のメニュー-B
08:10							
08:20	08:20 - 08:40 <週末> 朝のメニュー-A	08:20 - 08:40 <平日> 朝のメニュー-A	08:20 - 08:40 <平日> 朝のメニュー-A	08:20 - 08:40 <平日> 朝のメニュー-A	08:20 - 08:40 <平日> 朝のメニュー-A	08:20 - 08:40 <平日> 朝のメニュー-A	08:20 - 08:40 <平日> 朝のメニュー-A
08:30							
08:40	08:40 - 09:00 <週末> 朝のメニュー-B	08:40 - 09:00 <平日> 朝のメニュー-B	08:40 - 09:00 <平日> 朝のメニュー-B	08:40 - 09:00 <平日> 朝のメニュー-B	08:40 - 09:00 <平日> 朝のメニュー-B	08:40 - 09:00 <平日> 朝のメニュー-B	08:40 - 09:00 <平日> 朝のメニュー-B
08:50							
09:00							
09:10							
09:20							
09:30							
09:40							
09:50							
10:00							
10:10							

Ctrl+C : コピー / Ctrl+V : 貼り付け / Delete : 削除

Ctrlキーを押しながらVキーを押して、土曜日にペーストし1週間分のスケジュールを完成します。

月ボタンを押して、月表示の画面を表示します。

表示単位: 10分

2020年10月4日 - 10日

今日

日

月

	10/04 - Sun	10/05 - Mon	10/06 - Tue	10/07 - Wed	10/08 - Thu	10/09 - Fri	10/10 - Sat
タイムテーブル	週末	平日	平日	平日	平日	平日	週末
06:00							
06:10							
06:20							
06:30							
06:40							
06:50							
07:00	07:00 - 07:20 <週末> 朝のメニュー-A	07:00 - 07:20 <平日> 朝のメニュー-A	07:00 - 07:20 <平日> 朝のメニュー-A	07:00 - 07:20 <平日> 朝のメニュー-A	07:00 - 07:20 <平日> 朝のメニュー-A	07:00 - 07:20 <平日> 朝のメニュー-A	07:00 - 07:20 <週末> 朝のメニュー-A
07:10							
07:20	07:20 - 07:40 <週末> 朝のメニュー-B	07:20 - 07:40 <平日> 朝のメニュー-B	07:20 - 07:40 <平日> 朝のメニュー-B	07:20 - 07:40 <平日> 朝のメニュー-B	07:20 - 07:40 <平日> 朝のメニュー-B	07:20 - 07:40 <平日> 朝のメニュー-B	07:20 - 07:40 <週末> 朝のメニュー-B
07:30							
07:40	07:40 - 08:00 <週末> 朝のメニュー-A	07:40 - 08:00 <平日> 朝のメニュー-A	07:40 - 08:00 <平日> 朝のメニュー-A	07:40 - 08:00 <平日> 朝のメニュー-A	07:40 - 08:00 <平日> 朝のメニュー-A	07:40 - 08:00 <平日> 朝のメニュー-A	07:40 - 08:00 <週末> 朝のメニュー-A
07:50							
08:00	08:00 - 08:20 <週末> 朝のメニュー-B	08:00 - 08:20 <平日> 朝のメニュー-B	08:00 - 08:20 <平日> 朝のメニュー-B	08:00 - 08:20 <平日> 朝のメニュー-B	08:00 - 08:20 <平日> 朝のメニュー-B	08:00 - 08:20 <平日> 朝のメニュー-B	08:00 - 08:20 <週末> 朝のメニュー-B
08:10							
08:20	08:20 - 08:40 <週末> 朝のメニュー-A	08:20 - 08:40 <平日> 朝のメニュー-A	08:20 - 08:40 <平日> 朝のメニュー-A	08:20 - 08:40 <平日> 朝のメニュー-A	08:20 - 08:40 <平日> 朝のメニュー-A	08:20 - 08:40 <平日> 朝のメニュー-A	08:20 - 08:40 <週末> 朝のメニュー-A
08:30							
08:40	08:40 - 09:00 <週末> 朝のメニュー-B	08:40 - 09:00 <平日> 朝のメニュー-B	08:40 - 09:00 <平日> 朝のメニュー-B	08:40 - 09:00 <平日> 朝のメニュー-B	08:40 - 09:00 <平日> 朝のメニュー-B	08:40 - 09:00 <平日> 朝のメニュー-B	08:40 - 09:00 <週末> 朝のメニュー-B
08:50							
09:00							
09:10							
09:20							
09:30							
09:40							
09:50							
10:00							
10:10							

Ctrl+C : コピー / Ctrl+V : 貼り付け / Delete : 削除

8 1週間分のタイムテーブルを選択します。

日曜日のタイムテーブルを選択します。

日	月	火	水	木	金	土
				1日	2日	3日
4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
週末 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	週末 6 フォルダー
11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日

Ctrl+C: コピー / Ctrl+V: 貼り付け / Delete: 削除

Shiftキーを押しながら土曜日のタイムテーブルを選択し、1週間分のタイムテーブルを選択します。
Ctrlキーを押しながらCキーを押して、コピーします。

日	月	火	水	木	金	土
				1日	2日	3日
4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
週末 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	週末 6 フォルダー
11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日

Ctrl+C: コピー / Ctrl+V: 貼り付け / Delete: 削除

Ctrlキーを押しながらVキーを押して、次の週にペーストします。

日	月	火	水	木	金	土
				1日	2日	3日
4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
週末 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	週末 6 フォルダー
11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
週末 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	平日 6 フォルダー	週末 6 フォルダー
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日

Ctrl+C: コピー / Ctrl+V: 貼り付け / Delete: 削除

第4章 Ver.1.1.2.45 のバージョンで追加された機能のご利用方法

第4章では、e-Signage S Ver.1.1.2.45 で追加した新しい機能の利用方法について説明します。

e-Signage S Ver.1.1.2.45 のバージョンでは、以下の項目について対応を行いました。

1. ファビコンを追加しました。
2. アクセス権限が無いパネルグループを判別しやすくするために、アイコンを変更しました。
3. リストをスクロールした時にヘッダーが隠れないようヘッダー部分を固定化しました。
4. 状態監視・制御画面で通信中にアニメーションアイコンを表示するよう変更しました。
5. 操作結果を表示するメッセージをフローティング形式に変更しました。
6. 番組編集画面でキーボードを使って表示枠やテロップの移動、サイズ変更ができるようになりました。
7. スケジュールのイベントにマウスをかざした時、イベント名をツールチップ形式で表示するよう変更しました。

1. ファビコンを追加しました。

ブラウザのタブ、ブックマークに、ファビコン  を表示するようにしました。

2. アクセス権限が無いパネルグループを判別しやすくするために、アイコンを変更しました。

アクセス権限が無いパネルグループのアイコンとパネルグループ名は、薄い灰色で表示するよう変更しました。

ログインしたユーザーが、B 店舗のパネルグループにアクセス権限があり、A 店舗のパネルグループにアクセス権限が無い場合は、次のようにパネルグループアイコンとパネルグループ名が薄い灰色で表示されます。



3. リストをスクロールした時にヘッダーが隠れないようヘッダー部分を固定化しました。

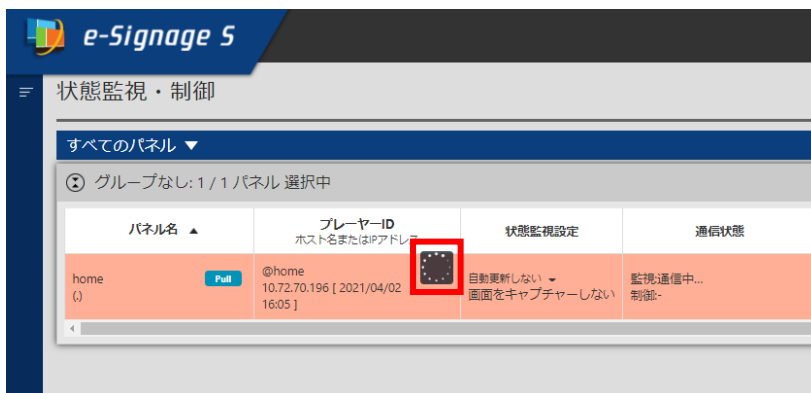
表のスクロールバーを移動した場合に、表の上部、または、左部のヘッダーが隠れて見えなくなならないよう、固定化しました。
ブラウザのウィンドウサイズを最大化することで、横方向のすべての項目を表示できる画面については、上部のヘッダーのみ固定化し左部のヘッダーは固定化していません。

以下の例は、配信画面で固定化したヘッダー部分です。



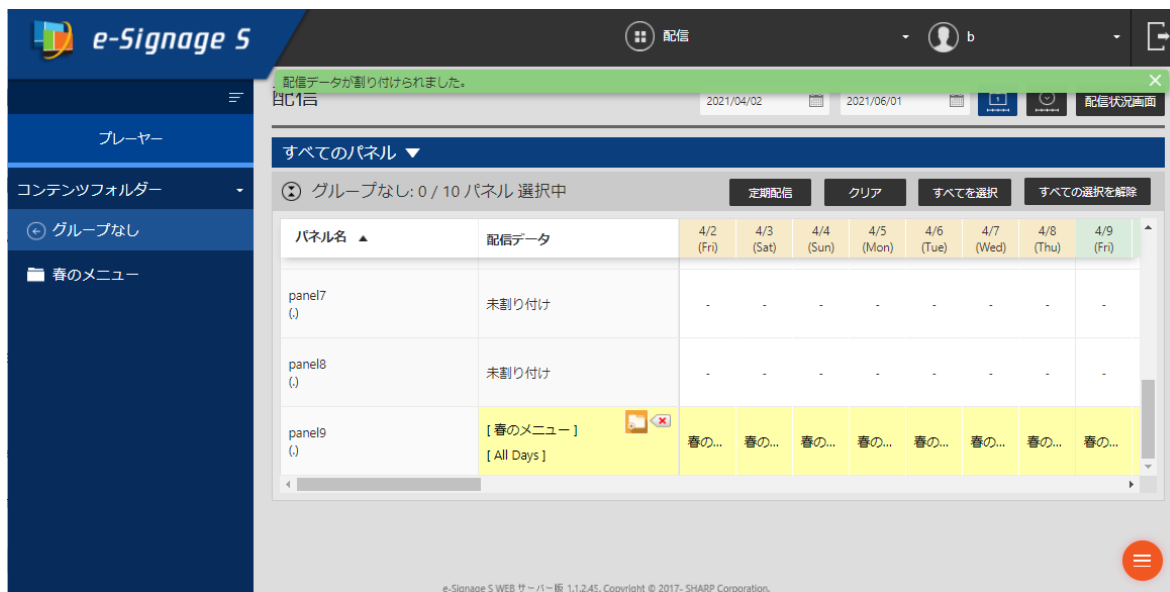
4. 状態監視・制御画面で通信中にアニメーションアイコンを表示するよう変更しました。

管理用 PC とパネルが通信を行っている間、プレーヤーID 欄にアニメーションアイコンを表示するようになりました。



5. 操作結果を表示するメッセージをフローティング形式に変更しました。

コンテンツをパネルに割り付けるなどの操作を行った結果を表示するメッセージを、フローティング形式にしました。メッセージは、しばらく表示したあと自動的に消去します。また、右上の  ボタンを押して消去できます。



6. 番組編集画面でキーボードを使って表示枠やテロップの移動、サイズ変更ができるようになりました。

番組編集画面で、キーボードのキーを使い表示枠やテロップのサイズ変更、位置移動ができるようになりました。



各キーの操作方法は以下のとおりです。

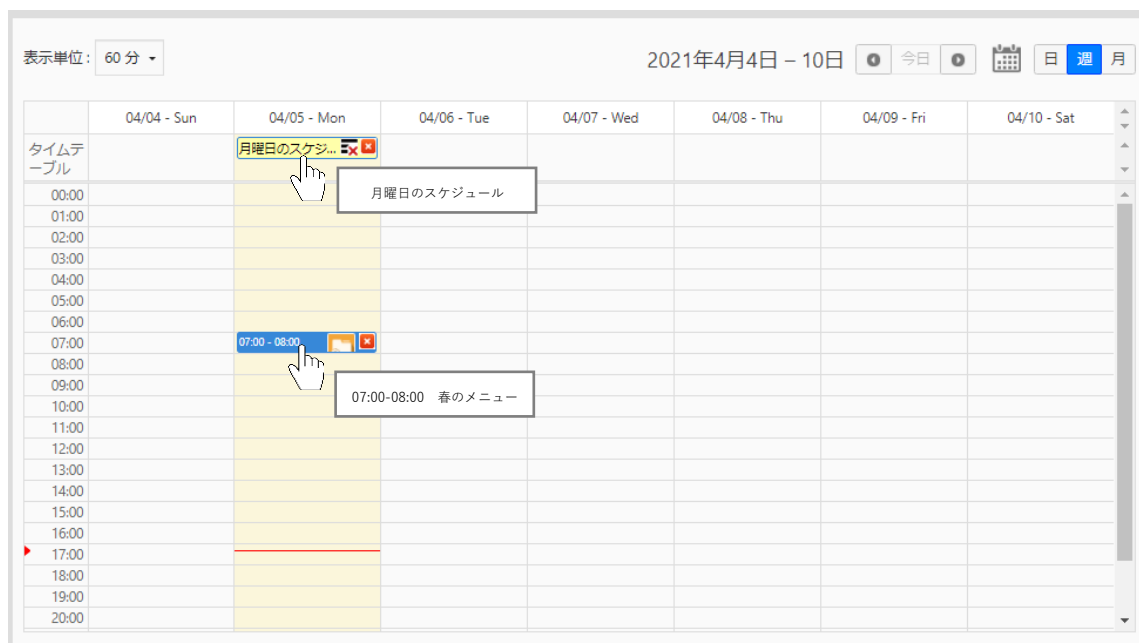
操作	方向	単位	操作キー
移動する	右に移動	ピクセル単位	Ctrl + 右矢印キー
		グリッド単位	右矢印キー
	左に移動	ピクセル単位	Ctrl + 左矢印キー
		グリッド単位	左矢印キー
	上に移動	ピクセル単位	Ctrl + 上矢印キー
		グリッド単位	上矢印キー
幅、高さを変更する (座標-X,座標-Y は固定です)	右に伸ばす	ピクセル単位	Ctrl + Shift + 右矢印キー
		グリッド単位	Shift + 右矢印キー
	左に縮める	ピクセル単位	Ctrl + Shift + 左矢印キー
		グリッド単位	Shift + 左矢印キー
	上に縮める	ピクセル単位	Ctrl + Shift + 上矢印キー
		グリッド単位	Shift + 上矢印キー
	下に伸ばす	ピクセル単位	Ctrl + Shift + 下矢印キー
		グリッド単位	Shift + 下矢印キー

注意事項

- 表示枠を右端または下端へ移動したとき、グリッド線上からずれることがあります。また、PC の画面解像度やブラウザのウィンドウサイズによっては、表示枠を正しい座標に表示できない場合や、正しい座標に移動できない場合があります。このような状態になったときは、設定から正しい数字を入力してください。

7. スケジュールのイベントにマウスをかざした時、イベント名をツールチップ形式で表示するように変更しました。

スケジュール編集画面で、マウスをコンテンツフォルダー、番組、パネル制御コマンド、タイムテーブルにかざした時、イベントの内容をツールチップ形式で表示するようにしました。



第5章 Ver.1.1.2.49 のバージョンで追加された機能のご利用方法

第5章では、e-Signage S Ver.1.1.2.49 で追加した新しい機能の利用方法について説明します。

e-Signage S Ver.1.1.2.49 のバージョンでは、以下の項目について対応を行いました。

1. コンテンツフォルダー、番組、スケジュール、チャネルセット、パネルをグループ間で移動できるようにしました。
2. e-Signage WEBブラウザ上でH.264対応の動画を再生できるようにしました。

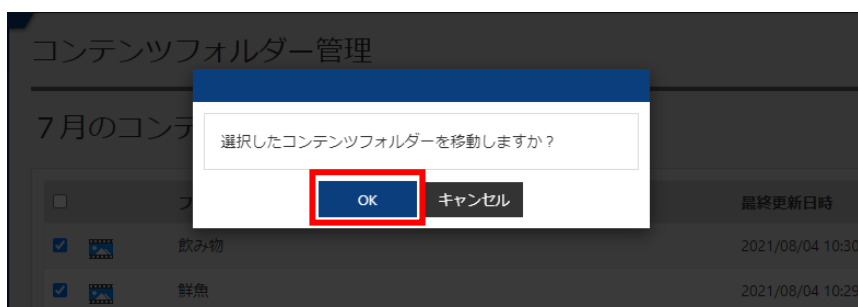
1. コンテンツフォルダー、番組、スケジュール、チャネルセット、パネルをグループ間で移動できるようにしました。

以下は、コンテンツフォルダーを他のグループへ移動する際の操作手順です。

1 コンテンツフォルダーを選択し、移動先のコンテンツグループへドラッグ&ドロップで移動します。



2 [OK]ボタンを押して、選択したコンテンツグループへ移動します。



2. e-Signage WEBブラウザ上でH.264対応の動画を再生できるようにしました。

e-Signage WEB ブラウザ上で、H.264 動画コーデックの動画ファイルを再生できるようにしました。

WEB サイトに H.264 動画が含まれている場合でも、e-Signage WEB ブラウザを使用して再生することが可能です。

トラブルシューティング

ブラウザの操作画面についてトラブルが発生した場合は、下表の対処方法をご確認ください。

症状	対処方法
操作画面のアイコンが正しく表示されない。	ブラウザが保存しているキャッシュデータが正しくない可能性があります。 キーボードを使ってスーパーリロード (Ctrl キー + F5 キー) を行い、ブラウザのキャッシュデータを削除してください。

(付録) パネルのインポート・エクスポート機能の利用方法について

e-Signage S Ver.1.1.2.30以降では、パネル管理に登録されているパネルのデータをインポート・エクスポートできるようになりました。この機能を利用することで管理用PCをリプレースする際に、既存PCから新規PCへ、パネル管理に登録されているパネルのデータをコピーできます。また、複数のパネルを一括して追加・編集する際、従来ではパネルごとにダイアログを開き作業する必要がありましたが、この機能を利用することで、パネル管理に登録されているパネルのデータをCSVファイルとしてエクスポートして、テキストエディタやExcelなどの編集ソフトを使って効率的に追加・編集してインポートする、といった運用が可能になります。



e-Signage S Ver.1.1.2.30 以降のパネル管理画面には
[インポート]、[エクスポート]ボタンが追加されています。

■ 既存 PC から新規 PC へ、パネル管理のデータを移動したい場合

既存の管理用PCに登録されているすべてのパネルをエクスポートして、新規の管理用PCにインポートします。

詳細な手順については、P.51 **既存PCから新規PCへ、パネル管理のデータを移す手順** を参照してください。

■ 複数のパネルを一括して追加・編集したい場合

パネル管理に登録されているすべてのパネルをエクスポートして、CSVファイルとして保存、テキストエディタやExcelなどの編集ソフトを使ってCSVファイルを編集してから、エクスポート元の管理用PCへインポートします。

詳細な手順については、P.52 **複数のパネルを一括して追加する手順** を参照してください。

注意事項

- ・ 新規の管理用PC、または、エクスポート元以外の管理用PCへのインポートは、行わないでください。
- ・ パネルのデータをエクスポートしてからインポートするまでの間、パネル管理の変更を行わないでください。
パネルグループの構成（階層や名前）を変更すると、変更があったパネルグループに登録されていたパネルは、元のグループにインポートされず、[すべてのパネル]に登録されます。
- ・ バックアップを取る目的でエクスポートしたファイルから、パネルのデータを復元させる場合は、あらかじめ、パネル管理に登録されているパネルとグループをすべて削除してからインポートしてください。
- ・ インポートではパネルの追加と登録パネルの変更のみ行うことができます、パネルの削除はできません。CSVファイルからパネルを削除してインポートしても、パネルは削除されません。
- ・ パネル管理画面で「作成」の権限がないユーザーは[インポート]ボタンが表示されません。
- ・ インポートする時は、エクスポートしたユーザーと同じ権限でインポートしてください。

既存 PC から新規 PC へ、パネル管理のデータを移す手順

既存の管理用 PC から、パネル管理のデータをエクスポートします。

- 1 既存の管理用PCで、パネル管理画面を開きます。
- 2 パネル管理画面の[エクスポート]ボタンをクリックします。
- 3 任意の保存先にCSVファイルを保存します。



既存の管理用 PC からエクスポートした CSV ファイルを、新規の管理用 PC へインポートします。

- 4 新規の管理用PCで、パネル管理画面を開きます。
- 5 新規の管理用PCにパネルやグループが登録されている場合は、すべて削除して、空の状態にしておきます。
- 6 パネル管理画面の[インポート]ボタンをクリックします。
- 7 3で保存した、CSVファイルを選択し、パネルのデータをインポートします。



注意事項

FTP パスワードについては、インポート後にデフォルト FTP パスワードに初期化されますので再設定する必要があります。

複数のパネルを一括して追加する手順

インポート・エクスポート機能を利用して、複数のパネルを追加する場合は、コピー＆ペーストを活用する方法が便利です。
あらかじめ、コピー元となる見本のパネル（以降、見本パネル）を登録しておき、それを複製することで簡単に多くのパネルを追加することができます。

注意事項

- ・ **エクスポートしたCSVファイルをExcelで開く場合は、必ず P.57 Excelを使用してエクスポートデータを開く手順 に従ってください。** 手順に従わないと、Excelの自動変換機能によりフォーマットが崩れ、パネルデータをインポートできなくなる場合があります。

1 見本パネルを1台以上登録します。

プレーヤータイプや配信方式、その他設定については、追加したいパネルの情報を設定します。

左の例では、次の2つの見本パネルを登録しています。

- ・（プレーヤータイプ：プレーヤーA1）×（配信方式：PULL）
- ・（プレーヤータイプ：プレーヤー）×（配信方式：PUSH）

パネル管理

グループなし

☐ *	パネル名 ▲	配信方式
☐ A1	PN-B401(会議室用)	PULL
☐ 	PN-ZP35(正面玄関用)	PUSH

2 パネルグループにパネルを登録する場合は、あらかじめ必要な数だけパネルグループを作成します。

左の例では、「京都支部」「大阪支部」「奈良支部」「兵庫支部」の4グループを作成しています。

すべてのパネル

京都支部

大阪支部

奈良支部

兵庫支部

パネル管理

すべてのパネル

☐	*	パネル名 ▲	配信方式
☐	A1	PN-B401(会議室用)	PULL
☐		PN-ZP35(正面玄関用)	PUSH

3 [エクスポート]ボタンをクリックして、任意のフォルダーにCSVファイルを保存します。

パネル管理

インポート

エクスポート

インストール/アップデート

グループなし

☐	パネル名 ▲	配信方式	IPアドレスまたはプレーヤーID	MACアドレス
☐	A1 PN-B401(会議室用)	PULL	@conference.com	
☐	PN-ZP35(正面玄関用)	PUSH	host001	

4 保存したCSVファイルを編集ソフトで開きます。

以下は、テキストエディタ（メモ帳）でCSVファイルを開いた場合の例です。

- ・ [Version Information]セクションは、CSVファイルのデータフォーマットのバージョンです。
- ・ [Panel Information]セクションは、パネルのデータです。
- ・ [Group Information]セクションは、パネルグループのデータです。
- ・ [User Information]セクションは、ユーザーグループのデータです。

```
[Version Information]
1.1
[Panel Information]
0, PN-B401(会議室用), @conferenceroom, , , , , 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , SOAP_V1-HTTP-SHORTPOLLING, , , 0, 00:00:00
0, PN-ZP35(正面玄関用), host001, , ftp, , 21, false, 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , , 0, 00:00:00
[Group Information]
1, 大阪支部, 0, 0, 0|1|2
2, 京都支部, 0, 0, 0|1|2
3, 兵庫支部, 0, 0, 0|1|2
4, 奈良支部, 0, 0, 0|1|2
[User Information]
0, スーパーバイザー
1, 管理者
2, ユーザー
```

5 パネルを追加します。

以下の例では、5行目の見本パネルをコピーして、6行目にペーストしています。

```
[Version Information]
1.1
[Panel Information]
0, PN-B401(会議室用), @conferenceroom, , , , , 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , SOAP_V1-HTTP-SHORTPOLLING, , , 0, 00:00:00
0, PN-ZP35(正面玄関用), host001, , ftp, , 21, false, 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , , 0, 00:00:00
0, PN-ZP35(正面玄関用), host001, , ftp, , 21, false, 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , , 0, 00:00:00
[Group Information]
:
:
```

コピー&ペースト

6 パネルの設定を変更します。

以下の例では、6行目にペーストしたパネルを、「大阪支部」グループに変更するためにパネルグループIDを「1」に変更しています。また、パネル名を「PN-ZP35(大阪用)」に、ホスト名またはIPアドレスまたはプレーヤーIDを「192.168.150.70」に変更しています。

※ 見本パネルから複製した行の3列目（ホスト名またはIPアドレスまたはプレーヤーID）は必ず変更してください。

```
[Version Information]
1.1
[Panel Information]
0, PN-B401(会議室用), @conferenceroom, , , , , 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , SOAP_V1-HTTP-SHORTPOLLING, , , 0, 00:00:00
0, PN-ZP35(正面玄関用), host001, , ftp, , 21, false, 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , , 0, 00:00:00
1, PN-ZP35(大阪用), 192.168.150.70, , ftp, , 21, false, 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , , 0, 00:00:00
[Group Information]
:
:
```

パネルの設定方法は下記のとおりです。

その他の列と制限事項については、P.60 **(参考情報) CSV ファイルのデータフォーマットについて** を参照ください。

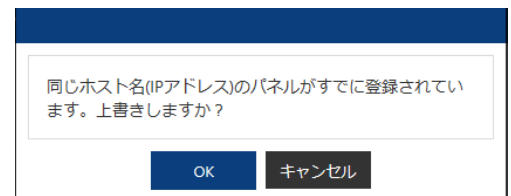
項目名		説明
1	パネルグループ ID	パネルを登録するパネルグループの ID を入力します。 「0」の場合は[すべてのパネル]に登録されます。Group Information の 1 列目の値を入れると 2 列目のグループ名のパネルグループに登録されます。
2	パネル名	プレーヤーを識別するためのパネル名を入力します。
3	ホスト名または IP アドレス またはプレーヤーID	PUSH の場合はホスト名、IP アドレスを入力します。PULL の場合は 1 文字目が@から始まるプレーヤーID を入力します。ファイル内に重複がある場合はインポートできませんので、ご注意ください。特にパネル追加のため見本パネルから複製した行であれば必ず変更してください。

7 パネル管理画面で[インポート]をクリックして

編集したCSVファイルをインポートします。

右のメッセージが表示された場合は、[OK]をクリックします。

以上の手順により、「大阪支部」グループにパネルが追加されます。



注意事項

- ・ エクスポートした CSV ファイルの [Group Information] セクションの編集は行わないでください。
[Group Information] のセクションが編集されると正しくインポートできなくなる場合があります。
- ・ 個別の FTP パスワードが設定されているパネルをエクスポートすると、FTP パスワードが空の状態でもエクスポートされます。また、FTP パスワードが空の状態の CSV ファイルをインポートすると、デフォルト FTP パスワードが設定されます。

複数のパネルを一括して編集する手順

インポート・エクスポート機能を利用して、複数のパネルを編集する場合の手順を説明します。

注意事項

- ・ **エクスポートしたCSVファイルをExcelで開く場合は、必ず P.57 Excelを使用してエクスポートデータを開く手順 に従ってください。** 手順に従わないと、Excelの自動変換機能によりフォーマットが崩れ、パネルデータをインポートできなくなる場合があります。

- 1 [エクスポート]ボタンをクリックして、
任意のフォルダーにCSVファイルを
保存します。



- 2 保存したCSVファイルを編集ソフトで開きます。

以下は、テキストエディタ（メモ帳）でCSVファイルを開いた場合の例です。

```
[Version Information]
1.1
[Panel Information]
0, PN-B401(会議室用), @conferenceroom, , , , 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , SOAP_V1-HTTP-SHORTPOLLING, , , 0, 00:00:00
0, PN-ZP35(正面玄関用), host001, , ftp, , 21, false, 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , , 0, 00:00:00
1, PN-ZP35(大阪用), 192.168.150.70 , , ftp, , 21, false, 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , , 0, 00:00:00
[Group Information]
1, 大阪支部, 0, 0, 0|1|2
2, 京都支部, 0, 0, 0|1|2
3, 兵庫支部, 0, 0, 0|1|2
4, 奈良支部, 0, 0, 0|1|2
[User Information]
0, スーパーバイザー
1, 管理者
2, ユーザー
```

3 必要に応じてパネルの設定を変更します。

以下の例では、4行目のパネルと5行目のパネルを、「すべてのパネル」グループから「京都支部」グループに変更するためにパネルグループIDを「0」から「2」に変更しています。また、パネル名をそれぞれ「PN-B401(京都用)」、「PN-ZP35(京都用)」に変更しています。

※ 3 列目（ホスト名または IP アドレスまたはプレーヤーID）は、変更しないでください。

```
[Version Information]
1.1
[Panel Information]
2, PN-B401 (京都用), @conferenceroom, , , , 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , SOAP_V1-HTTP-SHORTPOLLING, , , 0, 00:00:00
2, PN-ZP35 (京都用), host001, , ftp, , 21, false, 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , , 0, 00:00:00
1, PN-ZP35 (大阪用), 192. 168. 150. 70 , , ftp, , 21, false, 0, 00:00:00, 00:00:00, , , , , 0, 00:00:00
[Group Information]
1, 大阪支部, 0, 0, 0|1|2
2, 京都支部, 0, 0, 0|1|2
3, 兵庫支部, 0, 0, 0|1|2
4, 奈良支部, 0, 0, 0|1|2
:
:
```

パネルの設定方法については、P.52 **複数のパネルを一括して追加する手順** の手順 6 を参照ください。

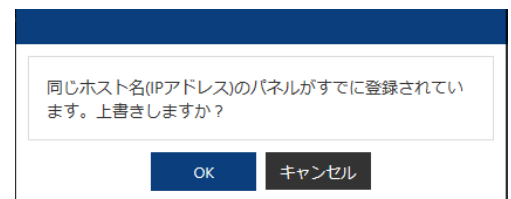
4 パネル管理画面で[インポート]をクリックして

編集したCSVファイルをインポートします。

右のメッセージが表示された場合は、[OK]をクリックします。

以上の手順により、「すべてのパネル」グループに登録されていた

2台のパネルが「京都支部」グループに移動します。



注意事項

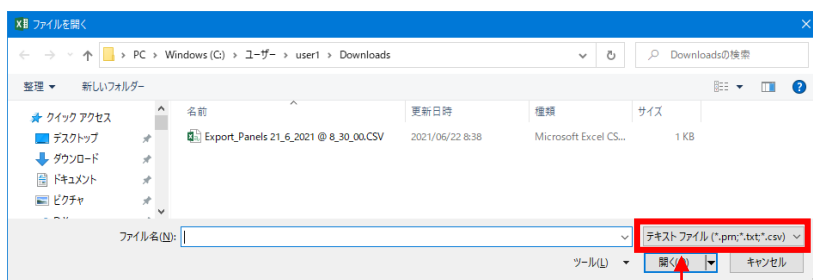
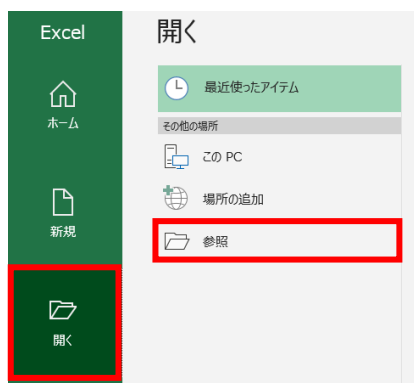
- ・ エクスポートした CSV ファイルの [Group Information] セクションの編集は行わないでください。
[Group Information] のセクションが編集されると正しくインポートできなくなる場合があります。
- ・ 個別の FTP パスワードが設定されているパネルをエクスポートすると、FTP パスワードが空の状態でエクスポートされます。また、FTP パスワードが空の状態の CSV ファイルをインポートすると、デフォルト FTP パスワードが設定されます。

Excel を使用してエクスポートデータを開く手順

エクスポートしたCSVファイルをExcelで開く手順を説明します。下記の手順に従わない場合は、Excelの自動変換機能によりフォーマットが崩れ、パネルデータをインポートできなくなる場合がありますので、ご注意ください。

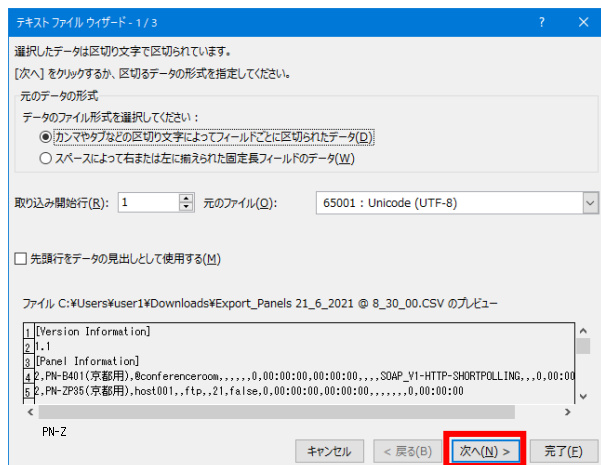
※ Excel のバージョンによって、画面デザインや機能名、ボタン名などが異なる場合があります。
下記手順を参考に、お使いの Excel に合わせた操作を行ってください。

- 1 Excelを起動して「ファイル」メニューから「参照」を選びます。「ファイルを開く」ダイアログからCSVファイルを選択します。

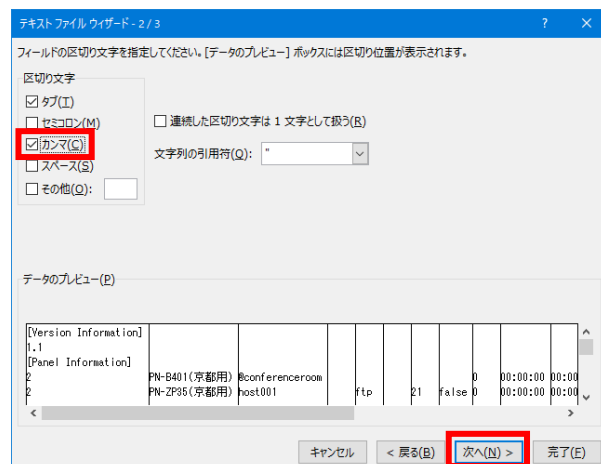


ファイルタイプは「すべてのファイル」または「テキストファイル」を選択します。

- 2 「テキストファイルウィザード - 1/3」が開きますのでそのまま「次へ」をクリックします。

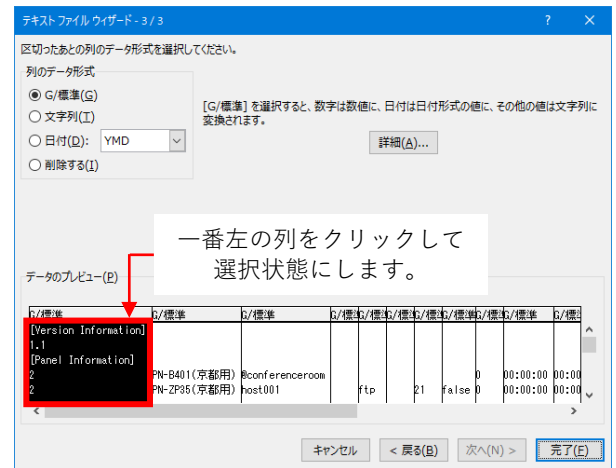


- 3 「テキストファイルウィザード - 2/3」が開きますので「カンマ」にチェックして「次へ」をクリックします。



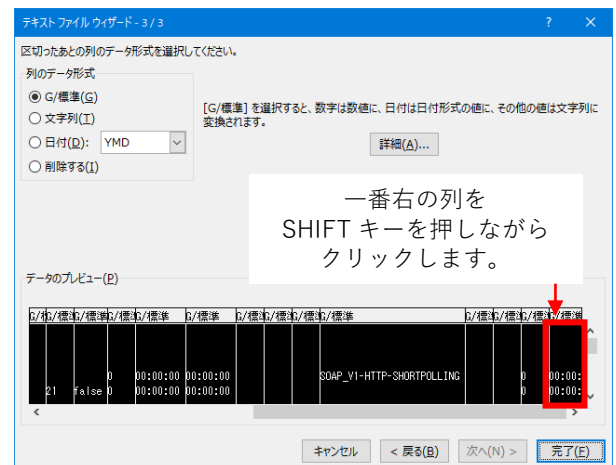
4 「テキストファイルウィザード - 3/3」が開きますので

「データのプレビュー」の一番左の列を選択します。



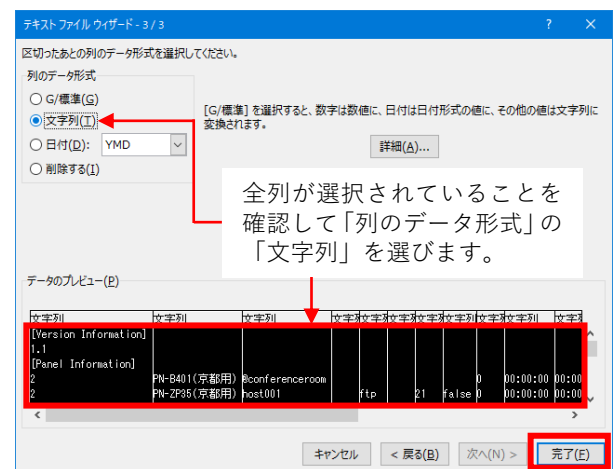
5 3 の手順で、一番左の列を選択状態にしたまま、

「データのプレビュー」の水平スクロールバーを一番右に移動して、SHIFTキーを押しながら一番右の列をクリックします。



6 「データのプレビュー」の全列が選択状態であることを

確認してから「列のデータ形式」で「文字列」を選択して「完了」をクリックします。

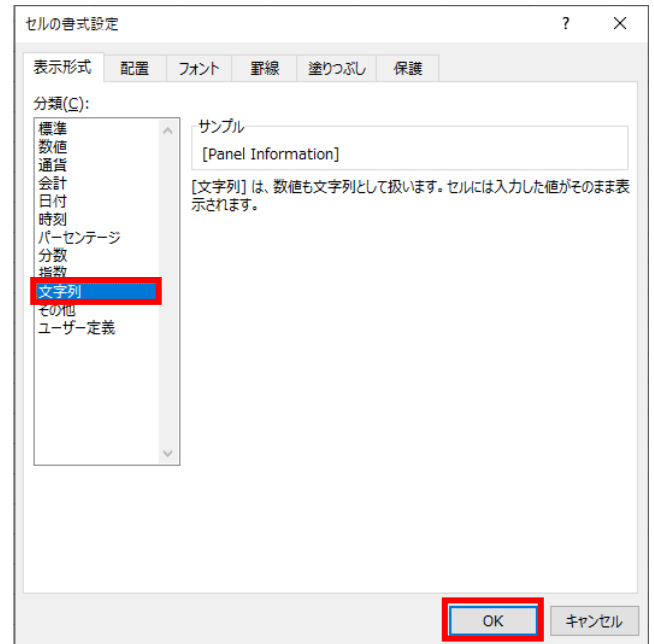


7 ファイルが開きますので、シート全体を選択状態にします。

(下図の赤枠の箇所をクリックすると、シート全体が選択された状態になります。)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	[Version Information]												
2	1.1												
3	[Panel Information]												
4	2	PN-B401(	@conferenceroom						0		00:00:00	00:00:00	
5	2	PN-ZP35(	host001			ftp		21	false	0	00:00:00	00:00:00	
6	1	PN-ZP35(	192.168.150.70			ftp		21	false	0	00:00:00	00:00:00	
7	[Group Information]												
8	1	大阪支部	0	0		0 1 2							
9	2	京都支部	0	0		0 1 2							
10	3	兵庫支部	0	0		0 1 2							

- 8 シート全体が選択された状態から、シート上の任意の箇所で右クリックをして「セルの書式設定」を開きます。
- 「表示形式」タブの「分類」で「文字列」を選び、「OK」をクリックします。



- 9 以上で、エクスポートファイルをExcelで開く手順は終了です。

P.52 複数のパネルを一括して追加する手順 の手順4～6を参考に、パネルを追加・編集します。

(参考情報) CSV ファイルのデータフォーマットについて

エクスポートしたCSVファイルの各列の内容については、以下の通りです。

バージョン情報 (Version Information セクション)

項目名	編集対象	設定可能な値	備考
1 CSV ファイルのデータフォーマットバージョン	対象外		変更不可

パネル情報 (Panel Information セクション)

項目名	編集対象	設定可能な値 (¥/*?<> ,"はすべての項目で使用不可)	備考
1 グループ ID	対象	すべてのパネル：0 もしくはグループ情報のグループ ID	空は不可
2 パネル名	対象	空白（スペース）を含まない 50 文字以下の文字列	空は不可
3 ホスト名または IP アドレスまたはプレーヤーID	対象	PUSH の場合 マルチバイト文字、空白（スペース）を含まない、 1 文字目が@でない 30 文字以下の文字列 (ホスト名か IP アドレス) PULL の場合 マルチバイト文字、空白（スペース）を含まない、 1 文字目が@である 2～30 文字の文字列 (プレーヤーID)	空は不可
4 MAC アドレス	対象	16 進数で 12 桁	-を入れてはいけません。
5 FTP ユーザー名	対象	マルチバイト文字、空白（スペース）を含まない 30 文字以下の文字列	空は不可
6 FTP パスワード	対象	マルチバイト文字、空白（スペース）を含まない 30 文字以下の文字列	空の状態ではインポートすると デフォルト FTP パスワードが設定されます。
7 FTP ポート番号	対象	1～65535	空は不可
8 バッシブモード（未使用項目）	対象外		変更不可
9 指定した時刻に管理用 PC から表示用端末の電源 ON/OFF を指示する	対象	OFF：0 ON：1	空は不可 MAC アドレスが空白の場合は、 1 は使用できません。
10 起動時刻	対象	hh:mm:ss hh は 00～23 mm は 05,10,15,20,25,30,35,40,45,50,55 ss は 00	空は不可、5 分単位の設定のみ可能です。列番号 9 が 1(ON)の場合、終了時刻と同じ時刻は使用できません
11 終了時刻	対象	hh:mm:ss hh は 00～23 mm は 05,10,15,20,25,30,35,40,45,50,55 ss は 00	空は不可、5 分単位の設定のみ可能です。列番号 9 が 1(ON)の場合、起動時刻と同じ時刻は使用できません
12 コメント 1	対象	100 文字以内の文字列	
13 コメント 2	対象	100 文字以内の文字列	
14 コメント 3	対象	100 文字以内の文字列	
15 プレーヤータイプ / 配信タイプ	対象	プレーヤー×PUSH：空 プレーヤー×PULL：PC-HTTP-SHORTPOLLING プレーヤーA1×PUSH：SOAP_V1-HTTP-PUSH プレーヤーA1×PULL：SOAP_V1-HTTP-SHORTPOLLING	
16 カスタムデータ 1（未使用項目）	対象外		変更不可
17 カスタムデータ 2（未使用項目）	対象外		変更不可
18 表示用端末の時計を管理用 PC の時計に合わせる	対象	OFF：0 ON：1	空は不可

19	同期時刻	対象	hh:mm:ss hh は 00~23 mm は 05,10,15,20,25,30,35,40,45,50,55 ss は 00	空は不可 5 分単位の設定のみ可能です
----	------	----	--	------------------------

グループ情報 (Group Information セクション)

項目名		編集 対象	設定可能な値	備考
1	グループ ID	対象外		変更不可
2	グループ表示名	対象外		変更不可
3	親のグループ ID	対象外		変更不可
4	アクセス権をすべての子パネル グループに設定	対象外		変更不可
5	アクセス権を有するユーザー グループ ID	対象外		変更不可

ユーザー情報 (User Information セクション)

項目名		編集 対象	設定可能な値	備考
1	ユーザーグループ ID	対象外		変更不可
2	ユーザーグループ名	対象外		変更不可

シャープ株式会社

本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

●住所などは変わることがあります。(2021.10)

S5 JA210 (3)